新潟市東区新石山3丁目

調査名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

ポーリングNo

事業・工事名

No. 1

調査位置

ボーリング名

20

- 21

-21.16 6.95 21.45

北 韓 37° 54' 12.53"

		· / 13	0													<i>ж</i> 6.					0.0000000000000000000000000000000000000	VACUAL V		46	, 14 0 1		J-1			
		幾関		新潟	市			直部	1			-		期間	7				221] ~ ア	26年	7月 :	26日		経 13					77
		者名						1 -	8815) 主任技師 笹川 方 北 0 地		養使			坦人		梨本			鑑;	2 者		ハンマ			任者		真農	克	即	
		架 高	0.	293m		F) 5	10°	270 90 盤 给	∓ 0°	F 機程			隹 梯					- 0 5			落下用	具			ė				
8	側 7	進 長	: 2	1.45m	度	 0"	Ç	, t	向 180 南 配 90	0.	種		- >	ジン			N	עץ	-10	2		ポン	,		F-1	V – 6	<u> </u>	_	_	
Į	標	層	深	柱	±	色	相	相	記	孔内	1			-		東準	貫	入	弒	験			原	位		1000	料技	10000	内	. #
					質		対	対		水位		段 10. 打	cm∠ ⊈[i		打撃回				N	値			深		∜ 験 名 3よび結果	675	塘	は探	結響	
	高	厚	度	状	×		被	稠		(m)/测	抽		10		数/								度	1	À	度	料	ł 取	7	J
20	2851200	202220	745-270	2000		2-0200	. Yan	- Control		定月	5	?	18	(貫入量								X2750			V4000	番		-	es 100
1)	(m)	(m)	(m)	3	分	調	2 250	度	#	B	(m	a) 10	20	30 ((cm)	0	10	20)	30	40	50 6	(m)	1	1	(m) 号	法	3	· E
1					網	淡茶	非常に		上層0.20mまで硬いシルトからなる 表土 1.70m付近までは含水多い。	7/2	5 5 1.1	16 2	1	Į.	4	as Sor	+				_			=	######################################				2 1 145/10	00
2	-1.8)	2.10	2.19			- m	経い		3. 1.70m付近までは含水多い。 根、草等の混入物はない。 粒径は不均一で極めて緩い。		1.5		1	15	-	3 J										1.5	0	1 (P)) 航度	8
	-2.46	10869			底植土	: 唯茶		軟らかい	粘性は中位で軟質。 未分解の繊維質を多く含む。		2.5	24 52	13		01000	2										2.7	71-	1 T	物理 三個 正書	
3											3.1	col .	3	5	30	11	1							I						
4											4.1	c o	8	9	30	24	+		7					1						
5											5,1	16 7	7	8	22 30	22	+		-	-	+			1		-				
6						略青	中		6,10m以深、上層に比べ締りが良く		6.1	1 2	7	2570	22	22	+				+			1		6.1	E .	* 6	(位度	nii
7					额砂	灰?	6		25.		5.4 7.1		9	10	28		L		1							6.4	5	-	-	2
8						青灰	1.				7.4	45	9	10	30	28			Ì											
											8.4	45		1000	30	26			1					350						7 22
9									9.00m付近まで粒径均一だが、9.00m 以深、徐々に中砂が不規則に混在す		9.1		8	9	30	24	T		4					li						
10									含水少ない。		10,	15 8	10	11	29 30	29	+		-		+			100		887				
11	-10.56	9.10	10.8								10.	1	13	16	40	40	+			/	>			-		-				
12			1			暗青	中ぐ		11.60mまで中砂優勢。 11.60~12.70m間、練多く混入し、礫 の最大径はφ40mm程度。		11.	1	9	10	26		+		_	/						873				
3					中砂	灰~	\$ 50~		12.70~13.50m間、a5~10ms程度の		12.	10	13	13	38	26			"	\						13.1	15		4.	
						野灰	密な		礫が少量混じる。 粒径不均一。		13.	45		9	200	38					8		14.0	0	TELEVISION STATES	13.4	P1-	3 P	含此重	1788
4	14.01		14.5			-				d	14.		8	*	30	24			1				14,8	100	見場透水試験					
5									15.00~17.20m間、所々に和中級の 薄層を介在し、不均一である。		15. 16.		6	8	19 30	19	t	1						-		7				
16											16.	15 8	10	10	28 30	28	+		1		+	-		8		\$ -				
17							中ぐ		17 20-10 5/ 門 繁水水(四分)- 7 26		16.		10		29		+				+			1		=				
18					申砂	略灰			17.20~19.50m間、密な細砂から成 る。		17.	25	14		39 30					/				1						
19						0.	~密な				18.	45	11			39				/	>									
							350				19.				30	30										19.1	P1-	4 P	- 位度	8
20											19.	45	3	3	10				_	3						19.4	15	3		1

20.15 4 3 3 10 20.45 30 10

21,15 12 17 14 43 30 43

調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調查委託

ボーリングNo

	7 76 - 7 4				シートNo
ボーリング名	No. 2	調査位置	新潟市東区新石山3丁目	l	北 韓 37 54 8.59
発注機関	新潟市 下水道部 東	部地域下水道事務所 副	調査期間 平成 26年 8月 18日	I ~ 26年 8月 26日	東 経139' 5' 43.63"
調査業者名	株式会社 興和 電話(025-281-8815)	主任技師 笹川考義	見 場 梨本恭平 鑑定	ア 2 者	ボーリング 責任者 眞島克郎
孔口標高	角 180° 方 0.493m 上 90° 270	/ 90 雅 at 水平0 用	式 錐 機 YBM-05	ハンマー 落下用具	半自動
総掘進長	17.45m m 下 7 向	90′ 盤 水平0′ 用 超	にンジン NFD-10	ポンプ	v – 5

Į.	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	孔内					楞	準	貫フ	. 3	4 1	検	房	A 1	位置試験	試料	料拐	取	室
	高	厚	度	状	質		対	対		木位(山)		打骂	ごと 注回 i	数 回 数	ž			N	0	値		磔	試 験 名および結果	深	試料	採取	内試験(
		10.700	ww	5,10000	区	10000.1	密		929	測定月	度	?	} }	間							1	度		度	番	方	2000
)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度		事	B	(m)	10	20 3	0 (ct		0 1	0	20	30	40 50	60 (1	m)	1 /	(m)	号	法	~
1	-0.71	1.20	1.2	0	御砂	淡茶		1	表層0.30m位まで、φ20~30mm程度 の幕の提入があり、以深は均一な細 砂である。		1.16	1		1										=			
2	-L.11	0.40	1.6	0755555 745555	腐植土	暗灰		敷らかい	未分解の繊維質混じる。粘土分少量 混じる。粘性弱い。 混入物はない。	8/20	1.47	32	6	7 18		1											
Z									IAC VIVIA S.Y. S	¥25	2.15		0.0	30		3	7										
3									粒径比較的均一であるが、3.00~4. 50m間、特に含水多く緩い。		2.15	6	6	30		,			+					8			
4									Complete and the Editor Section (1997)		3.45 4.15	4	5				/		4								
											4.45	3	Б (30		1	1										
5							中ぐ				5.16	4	ь	30		5	1										
6					細	緓	600				6.15	7	7	30	0 2	3	- 3	/						6,15	P2-1	P	松度
7					砂	灰	~密	8	7.00mから、締りが良くなる。		6.45 7.15	8	9 1	0 23	7			1						6.45		10000	(April 1997)
							な		1. VOMO-51, NO 5 N-52, 1/3-05		7,46	76	120 3	3(1								
8											8.15	7	9 1	0 26		5			1								
9									9.00m以深、所々中砂の混在があり、 不均一である。		9.15	10	11 1	3 35		3		+	\rightarrow	8							
0									THE COO.		9,45	8	10 1	200					_/	/							
	-10.41	9.30	10.9	6							10.45			-505		3			4								
1		=							10.90~12.10m間、中砂優勢。 11.15~11.30m間、細糖属じり粗砂 を介在する。		11,15	J	14 1	8 44		1				>							
2				1					12.10~13.05m間、中砂優勢で礫泥 じる、礫の最大径はφ20mm間度。		12.15	100	10 1	2 31				-	10					12.15	P2-2	®	合木
3				1			20.820		THE STANSON OF THE ST		12.45	122	9 1	0 25				L	1	ŽE.		3,50	現場透水試験	12.45		10000	粒度
				//	割	25475-70	中ぐる		13.05~13.75回間、中砂優勢で粒径 均)。		13.45			30	0 2	2			4		140	a.00					
1	-				中砂	終灰	201		13.75〜14.65m間、租砂優勢でφ20mm程度の課を少量混入する。		14.41	1000	18 1	3 50	5 5	3				-							
5					1000		密な	1000	14.65m以梁、中砂優勢。16.10mまで 製混じる。 礫の最大径はφ35mm程 度。		15.15	184	15 2	0 44				+	+		9						
6				:::::							16.15	Tres I	6 1														
									16.10m以深、所々、細砂、粗砂の薄 層を介在する。不均一である。 16.20m付近、3cm程度の埋木を混入		16.45		(1880 X	30	9 2	2		\leq	\				ir pulationau attacke at Circles				
7	-16.96	6.55	17.4	5				3	する。		17,15		14 1		0 4)				V							

調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質長委託

ボーリングNo

事業・工事名 No. 3

ボーリング名

発注 機 関

調査業者名 孔口標高

総掘進長

0. 267m

420,000 0000000000		_ >- FNO
No.3 調査位置	新潟市東区新石山1丁目	北 韓 37° 54' 14.62'
新潟市 下水道部 東部地域下水道	事務所 調査期間 平成 26年 7月 28日 ~	26年 8月 1日 東 経 139' 5' 56.63'
株式会社 獎和 電話 (025-281-8815) 主任技師 笹	正川考義 現 場 梨本恭平 ゴ ア 低 定 者	ボーリング 資島克郎 責任者
角 180" 方 北 0" 地	使 =+ A# ## V.D.V. O.E	ハンマー 落下用具 半自動
267m 上 90° 270° 90° 盤 鉛 百 東 勾 面 配 90°	6 本平0 用	ポンプ V-5

	標	層	深	柱	土	色	相	相記	孔内					標	準	貫	入	試	験			原	位置試験	試料	料报	取	室
		70000		10006	質		対	対	水位(m)	滐		ごとの	-				N		値			深	試 験 名および結果	深	試	-30	内試験
	高	厚	度	状	Ø		密	稠	測	度	700	0 20	貫									度		度	料番	取方	(
	(m)	(m)	(m)	×	分	調	度	度事	定月日		1.5	}	入 量 (em)) (K 31	10	20	0 3	30	40	50	60 (m)	\	(m)	522	法	v
1	-1.53	1.80	1.8		和砂	暗茶~淡茶	非常緩~い	表層はコンクリートガラで僅かに最の混入見られる。 0.30mから、均一な細砂で混入物はない。	7/2	1.16	2	1 1	4 30	4	ä									ē.			
2				Q	腐植土	暗茶		軟ら から 大分解の繊維質を多く含む。 位		2.15	1	1 2	30	4	1						1		********	-			
						100.00		2.30~7.00歳間、粒径均一である。		3.15	5	6 8	19 30	19	-		Ä							7 8			
										4.15	7	5 9	24 30	24			-	>						-			
						换				5.16 5.45	7	7 8	22 30	22			1	\vdash			===			- 6.18 5,45	P3-1	Đ	粒度
					細砂	灰人 暗	級い!	6.10~7.50m間、含水多く、締りが過 い。		6.16	5	5 7	17 30	17		3								-			
					10*	青灰	都な	7. %		7.15	6	6 7	19 30	19			1							a i			
								8.00m以深、所々中砂湿じり、含水生なく締りが良い。	č	8,15 8,45	7	9 12	28 30	28				1						-			
										9,15	9 ;	11	31 30	31			+							3 5			
	-9.83	8.00	10.1					10.10~11.25m間、中砂優勢。少量の 細砂分が混じり、締りが良い。		9,45		13 16	39 30	39					-	8	53			-			
				1				0 0000000000000000000000000000000000000		10.45 11.15 11.37	10 4	3 8	50 22	68			+			13:	•	11.50		-			
							19922	11.25〜12.40m間、確が少量視じる。 뾽の最大怪は φ 10mm程度。		12.15		16 17	46	46						q		12.00	現場透水試験	12.15	P3-2	®	合水
				/	1220		無なし	12,40~13,85m間、礫塊じり、不均一な砂。		12.45		16 17	50 30	50								-		12.45		016319	収度
	-	=			担中砂	灰	非常に	13.85~14.70m間、細砂状を成す。沿 入物なく均一な細砂。		13.45	12	13 18	500	43						1	4			- -			
							密な	14.70~16,15m間、粗砂優勢。所々、 2~3mm程度の細膜を混入する。		14.45		12 16	10000			-				1				=			
								15, 40~16, 15m間、所々細砂視じり、不均。 16, 15~16, 60m間、中砂優勢。 締りか		15.45 16.15		23 14	1881) Ant							\		-	16.15	P3-3	Ð	经 审
				5				16.16~16.00mm(、中の撮影の、相りな 良い)。 16.60~17.45m間、細形状を成す。 経均一。	l II	16.41		15 17	43							8	-			16.41	P3*3	U	rd.BL
	11.10	1,00	17,4	* • • •				The Park Section		17,45			30	10						G							

調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調查委託

ボーリングNo

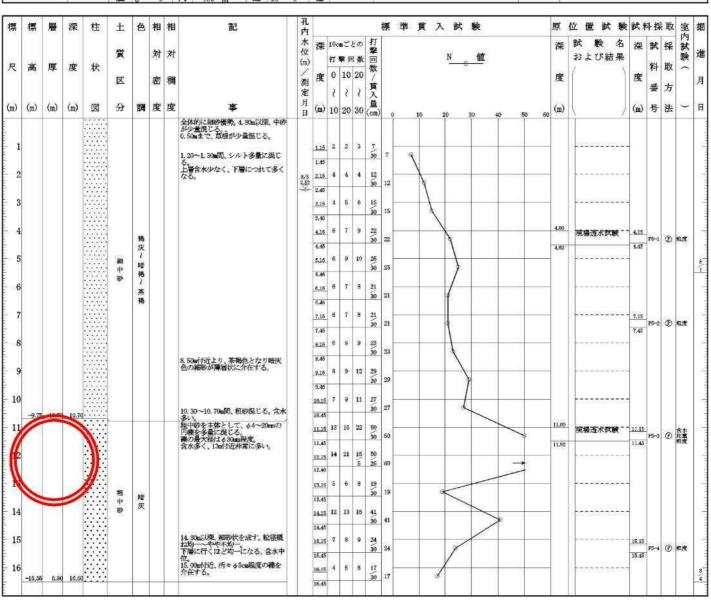
		350.2019		SCHOOL STATE											_			シート	No			
ボーリング名		5	No. 4		調査位	Ě			新鴻	市東	区中野	- 山 2	丁目					北	緯	37°	54'	17.60
発 注 機 関	新	鴻市	下水道	部	東部地域	下水	(道事務所	Ť	調査期間	平成	26年	8月	4日	~	26年	8月	9日	東	経	139'	6'	10.58
調査業者名	i	株式:電話(会社 典 5 025-281		15) 主任技	師	笹川考書	庭	現場代理人	梨	本恭	pz.	コ鑑定	ア者	(1)		70	ボーリ	ング E 者		真島	克郎
孔口標高	0.56	角 Im	上 上 90	方	北 0' 90'	地盤勾配	*** 水平0*	使用	試錐機		1	BM.				ハンド落下月				半自	動	
総掘進長	17, 4	5m 度	F. 0.	向	西 東	勾配	新水平0° 直	機種	エンジン		N	FD-	-10			ポン	プ			v -	5	

票	標	層	深	柱	±	色	相	相	記	孔内					標	準	貫	入	弒	験			原	位	置試	験部	战料	採	取	室
5	高	厚	度	状	質		対	250.77		水位(三/		打骂	ごとの * 回要 10 20	一回数	ĝ.			Ŋ	0	値			深度	お	験 よび結	果			200	内試験(
		10/1962	NOTATE	50000	区	MOSA	密	orene.	41000	測定月	度	?	2 2	八貫入量									及						ガ	
0	(m)	(m)	(m)	Ø	分	調	度	度	事	B	(m)	10	20 30	(em	N.	0	10	20		0	40	50	60 (m)	1		/ (m)	号	法	~
1	-0,69	1,25	1,2	5	砂砂	暗茶		12070	表層30cmまでは玉石混じる築土。	8/4 1,20	1,15	1	ı ı	3	E 40, 560	(92)		1												
2				******	植土	暗茶		1223	1.50mまで、粘土状を成し、粘性やや 強い。 1.50m以深、埋木の混入が所々見ら れる。 未分解の繊維質を含む。		1,58 2.15	7 1 32	1 1 17 19	3 43 1 32	3	Î-	-	+									- 1	74-1	©	が理 に動 E 数
3	-2,14	1,45	2,7	operation.	-				未分解の機能質を含む。 6.20mまで、細砂優勢。6.20m以深、 中砂優勢。 2.70~3.80m間、粒径均一。		2.47 3.15	222	6 7		8		\	N.						:==			.30			
4									3,80~5,056間、含水少ない。		3.45 4.15 4.45	7	10 11	28 30	28				1							150	.15	P4-1	® *	血斑
5											5.16 5.45	9	11 13	33 30						>				165			,460			
6					細中	暗茶~	中ぐらい	Y	6, 20~8, 20间,粒径均一。		6.15	8	11 12	31 30				$^{+}$						-						
7					砂	終灰	いと独な				7.15 7.46	200	13 14	30	37				8	>				155		5353E				
3							0.000	5000	8.20m以梁、所々6~8cm程の細形を 薄層状に介在する。	1	8,15 8,45		10 11	30	34			Ť		1				-						
)								201	9.00m以深、締りが良くなる。		9.45		14 17	30	30				Š							4.5	.45	P4-2	D e	文室
	10,34	8,20	10.9						10 90~11 55m間 組砂優勢 粉悠遊		10,45	14	20 14	50	42					101	Jan .	\	11.00	0 193	易透水試	*	.18			**
2)					10.90〜11.55m間、粗砂優勢。粒径均 一であり、締りが良い。 11.55〜12.70m間、中砂優勢。礫選じ り、礫の最大径はφ15mm温度。		11.40	520	17 18	26 50 29									11.50			71331	.40	P4-3	P #	直线
			1						12.70~13.90m間、細砂状を成す。温 入物なく、均一な細砂。		12.44 13.15	9/3	8 9	200				- 13	_		<u> </u>	_								
1					割中	終灰			13.90m以際、中帯優勢、少量の礫の 混入が見られる。		13.45 14.15	9	10 13	3.50	8			18	/	À										
					砂	90000			15 00mCD图 研水 4 10~15mm(Vの鍵		14.45	10	12 16	200	200	-		+		1							5.15	P4~4	® *	彼
,								- 5	が混入がある。 部分的に租砂を薄層状に介在し、全体的に不均一である。		16.45 16.45	10	13 17	40 30)		-		100			5.45			
7	-16.89	6.55	17.4	5							17,15	13	15 17	45 30							1			1777	-,					

調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調查委託

ポーリングNo

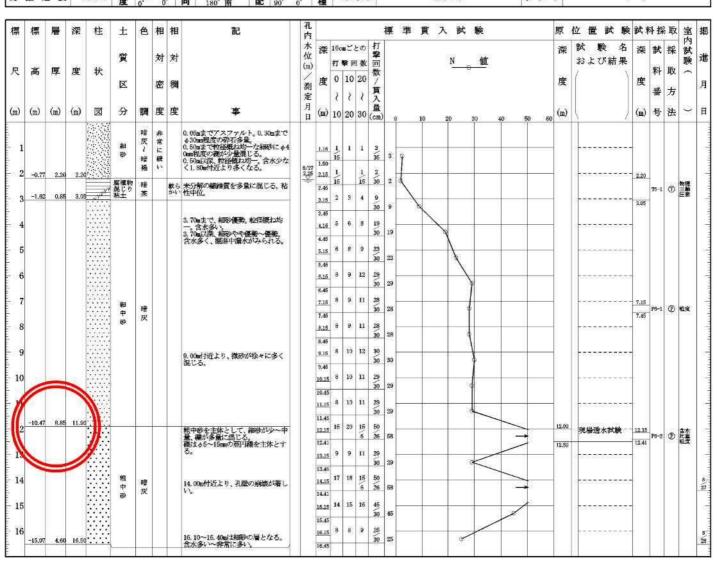
	a the sales and a		
ボーリング名	No. 5	調査位置	新潟市東区中野山4丁目 北 緯 37° 54' 12.68
発注機関	新潟市 下水道部 東	部地域下水道事務所	調査期間 平成 26年 8月 1日 ~ 26年 8月 9日 東 経 139' 6' 16.52
調査業者名	株式会社 興和 電話(025-281-8815)	主任技師 笹川考義	現 場 梨本恭平 コ ア ボーリング 本間進 代理人 単本恭平 鑑定者 責任者 本間進
孔口標高	角 180° 方 270°	北 0' 地	試 錐 機 YBM-05 パンマー 落下用具 半 自 動
総掘進長	16 50m 上 下	90° 盤 水平0° 用 檢 80° 南 配 90° 0° 種	エンジン NS75 ポンプ V-5



調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調查委託

ポーリングNo

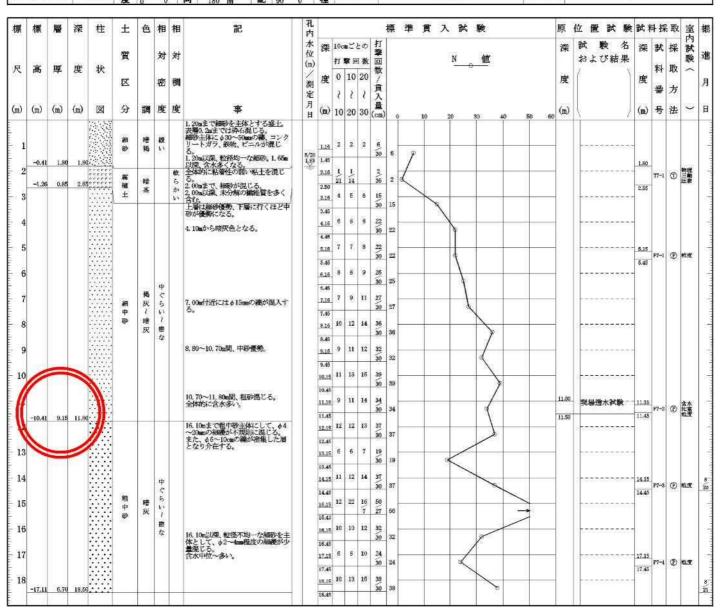
	7× ++1				シートNo	
ボーリング名	No.6	調査位置	新潟市東区石山団地		北緯	37° 54' 19.23"
発注 機 関	新潟市 下水道部 東部	邓地域下水道事務所	調査期間 平成 26年 8月 27	日 ~ 26年 9月 2日	東 経	139' 6' 29.45"
調査業者名	株式会社 興和 電話 (025-281-8815)	主任技師 笹川考義	現場 製本恭平 二代理人 製本恭平 鑑力	アを者	ボーリング	
孔口標高	角 180° 方 1.433m 上 90° 270°	北 0' 地 使用	試 錐 機 YBM 0.5 エンジン NS 7.5	ハンマー 落下用具		半自動
総捆進長	16.50m 上下 上西	90′盤分水平0′用機	エンジン NS75	ポンプ		V - 5



調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

ポーリングNo

	TA -TU				シートMo
ボーリング名	No. 7	調査位置	新潟市東区東中島1丁目		北 韓 37° 54' 23.13"
発注機関	新潟市 下水道部 東	部地域下水道事務所 調	查期間 平成 26年 8月 20日	~ 26年 8月 26日	東 経139'6'35.96"
調査業者名	株式会社 異和 電話 (025-281-8815)	主任技師 笹川考義 現代	場 製本恭平 端定	ア	ボーリング 本間進
孔口標高	角 180° 方 1.392m 上 90° 270	北 0′ 地 使 試 水平0′ 伊用 最 工 の の の の 種 工	\$ 錐 機 YBM-05	ハンマー 落下用具	半自動
総掘進長	18.50加 唐 下 0 向	90′ 盤 糸平0′ 用 試	ンジン NS75	ポンプ	V - 5

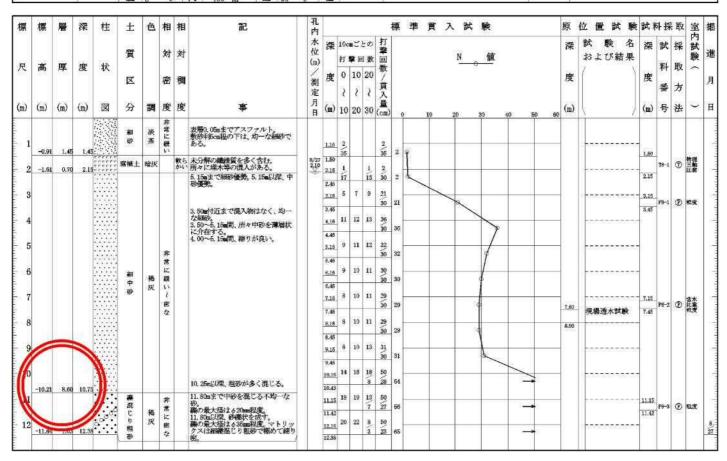


調 查 名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質長委託

ボーリングNo

車	業	¥5	т	車	名
- जुन	_		-	-	ъ.

	arcaneem reconstruction			シートMO
ボーリング名	No. 8	調査位置	新潟市東区東中島2丁目:	北 韓 37 54 26.65 "
発注 機 関	新潟市 下水道部 東	部地域下水道事務所 1	調査期間 平成 26年 8月 27日 ~ 26年 8月 30日	東 経139'6'26.07"
調査業者名	株式会社 興和 電話(025-281-8815)	主任技師 笹川考義		ボーリング 責任者 眞島克郎
孔口標高	角 180° 方 270	北0 地 使 点	式 錐 機 YBM-05 然下用具	半自動
総掘進長	12.38m 度 下 0 向	90' 盤	エンジン NFD-10 ポンプ	V – 5



調査名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調查委託

ポーリングNo

事業・工事名

			シート	No				
			北	緯	37°	54'	26.	65″
年	7月	29日	東	経	139	6'	26.	07"
_			-12 _11	. H				

ボー	- IJ	ング	名			N	ο.	9		調査位置	t			新	島市	東区	下場	新	町					北		緯	37°	5	4'	26.	65
発	注	機	関	100	新潟	市	下	水道	部	東部地域「	水	道事務別	ŕ	調査期間	平成	264	丰 7.	月:	23日	~	26年	7月	29日	東		経	139	r	6'	26.	07
調 :	査 葉	者	名		株電	会 (基)	₹社 025·	典 - 28	和 1-88	宝丘技能 主任技能	ħ	笹川考彰	奏	現場代理人	孝	本本	*平	-	は一般に	ア	v		- 5.		-リ 任			斉	藤	鱼満	
A	П	標	高	0. 6	75m	角	180°) 90	方:	270 / 90	地盤勾配	∞ 水平0°	使用機種	試錐機	Ĭ		D (0 – E	L			ハン落下					半	自動	b		
総	掘	進	長	15	50ш	度	下 0'	0	向	西 東	勾配	政 政 90°0°	機種	エンジン			N	S 6	0			ポン	・プ			į	B G -	3 0	L		
標	標	層	4	深	柱	土	色	相	相	話		孔内			標	準	貫力	λ	試	験			原	位	置	試	験	武彩	1採	取当	医 排
尺	高	馬		度	状	質		対	対			水位 (m)		10cmごとの 打撃回数 回	ž	17 43		N	0	値			深			験 び結	名果		試料	探書	武 道
^	100	l la	7		1/1	区		密	稠			測定	度	0 10 20 7 2 2 2 7	î T								度					庶	170	方	月

月 日 (m) 10 20 30 (cm) (m) (m) (m) (m) 図 分 調度度 (m) 号法 ~ 日 0.2mまで粘土製じる。 1.00mまで箱り中位、1.00m以業締りが悪くなる。 1.00mまで舌水やや少なく、1.00m以 深やや多い。 細砂 7/24 1,66 1,16 1.35 1 1.47 32 1 32 1 -0.73 1.40 1.50 軟ら 1.80m以深より、未分解の総練質を やや多く流入する。 極めて軟質であり、含水中位。 79-1 ① 物理 三輪 圧動 腐植土 2.15 0 1 27 3 30 2.20 -1.73 2.45 2.80mまで細砂優勢でシルト混じる。 締りは悪く、含水中位。 2.80m以深、中砂優勢。 3.15 4 4 5 13 30 13 3.45 6 7 4.16 6 1.10 1.45 P9-1 (予 松本 4.45 5.15 6 8 8 22 30 5.45 中ぐらいと密な 6.15 7 9 9 暗福~ fi.45 7,16 7 9 10 26 30 7m以際より、粒径不均一で程砂度じる。 含水中位。締りは中位~やや良い。 7.45 8.16 9 9 12 30 30 8.15 P9-2 ① 比重 配理 8.45 8.60 19 14 33 30 33 9,15 9 9.45 10.15 9 12 16 10.45 -10.13 8.40 10.80. 11.15 18 24 8 11.45 12.15 9 6 7 12 中ぐらい~ 密な 羅温じり粗中砂 22 12.45 13.15 13 13 16 13 7 24 13.20~15.50m間、中砂優勢。礫φ1 0~20mmを成す。締りは良い。 19-3 ① 检查 13.45 13.45 14.15 15 16 15 46 30 14 14.45 15.15 11 11 11 33 15 30 33 4.70 15.50 16.45

調査件名 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日

平成 26年 9月 18日

200000	See	900	1712172-1	Sayanan Nama	54844 44944	production . West	整理担当者	1124	義仁
試 (料準	輩 さ	号)	P1-1 (1.15~1.50m)	P1-2 (6. 15~6. 45m)	P1−3 (13.15∼13.45m)	P1-4 (19.15~19.45m)		
Ť	湿潤密度	ξρ,	g/cm ³	* Y	_ 75 ACMORPHIC				
	乾燥密度		a laboration and the second						
1	土粒子の密度			2. 59		2. 63			
Ī	自然含水片		%			14.0			
没		t o							
X	飽和厚		%						
7			江) %						
1	礫 分1)(:			0. 0	0.0	26. 8	0.0		
拉	砂 分10(0			77.8	95. 9	66. 3	92. 6		
1	シルト分り(0.			11. 2				- 220000000	
-	粘土分"(0			11. 0	4.1	6. 9	7.4		
1	最大粒包		mm	2	2	26. 5	2		
	均等係数			88. 93	2. 10	8. 16	2. 52		
隻	曲率係数								
1	四平饼多	X U C		21. 53	1. 19	0, 77	1. 14		
2	液性限界	н	%						
コンシステンシー特性									
テン	塑性限界		%						
シー	塑性指数	$\chi I_{\mathfrak{p}}$	zere o un						
6/L	III AM II NOT	29:0				******			
分	地盤材料0			細粒分質砂	分級された砂	A 72 Meroking og myster (1990) (1997) A 70	細粒分まじり砂		
領	分 類 名					礫質砂			
200	分類記号			(SF)	(SP)	(SG-F)	(S-F)		
r.	試験方法								
E	圧縮指数								
	圧密降伏応力	p_{\circ}	kN/m^2						
密									
			00 8 10 10 10 10						
-	一軸圧縮強る	5							
軸	破壊ひずみ	+ E r							
王縮			MN/m^2						
HH.			%	V	0				
	試験条件	‡							
世	全応力	c	kN/m^2						
4	בב אש או	φ							
0	有効応力		kN/m^2						
折	H XV NC 7	φ	, , ,						
(SE)		-3.54							
秀									
22									

P1-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

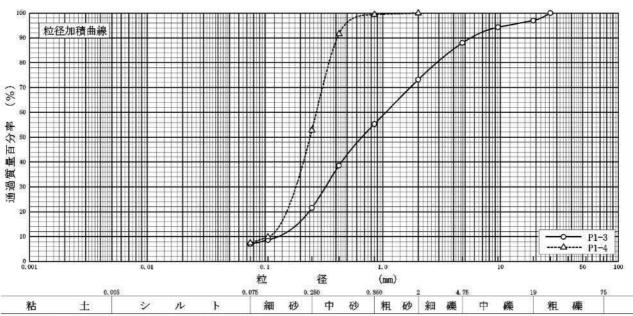
 $[1kN/m^2 \Rightarrow 0.0102kgf/cm^2]$

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P1-3 (13, 15~1	3.45m)	P1-4 (19. 15~)	19.45m)		武 (沒	料	番	号 さ)		P1-3 (13.15~13.45m)	P1-4 (19. 15~19. 45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Æ		分		%	3. 0	=
	75		75		中	Ø	¥	分		%	9. 0	-
Š	53		53		細	£	裝	分		%	14. 8	+
	37. 5		37. 5		粗	ñ	ቃ	分		%	17. 9	0.6
る	26. 5	100.0	26. 5		中	đ	ቃ	分		%	33. 8	46. 6
	19	97. 0	19		細	4	少	分		%	14. 6	45, 4
61	9.5	94. 3	9. 5		シ	N	1	分		%	6. 9	7. 4
****	4. 75	88. 0	4. 75		粘		Ė	分		%	0. 9	7.4
分	2	73. 2	2	100.0	2mm	ふるい	通過	質量	百分哥	8 %	73. 2	100.0
),;	0, 850	55, 3	0, 850	99. 4	425	μms	るい通	過質量	量百分率	¥ %	38. 6	91.6
40	0. 425	38. 6	0. 425	91.6	75μ	mふる	い 通 i	過質量	百分學	客 %	6. 9	7.4
析	0. 250	21. 5	0. 250	52. 8	最	大	粒	径		mta	26, 5	2
	0. 106	8.6	0.106	9.8	60	%	粒	径	D 50	mm	1.0622	0. 2726
	0.075	6. 9	0.075	7. 4	50	%	粒	径	D 60	mm	0.6642	0. 2416
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 3273	0. 1832
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1302	0. 1083
11.					均	等	係	数	U_{ϵ}		8. 16	2. 52
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		0. 77	1.14
Sec. 1					土: 2	粒子	の密	度	ρ_s	g/cm³	2. 63	
分					使用	した	分散剤	J				100 N
析					溶液	濃度	溶液	添加	量			
KI.					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 2364	0. 1530



特記事項 P1-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日

平成 26年 9月 29日

試	料 番		号	P2-1	P2-2			
(深	さ		(6.15∼6.45m)				
	湿潤密度	$\rho_{\mathfrak{t}}$	g/cm ³					
- [乾燥密度	$\rho_{\rm d}$	$\rm g/cm^3$					
	土粒子の密度	ρ,	$\mathrm{g/cm^3}$		2, 63			
	自然含水比	Wn	%		16. 6			
没	間隙比	e						
	飽 和 度	S_{r}	%					
	石 分 (7)						 	
333 SE	礫 分1)(2	~75n	nm) %	0. 0	30. 9			
位	砂 分100.	075~2	2mm) %	94. 9	62. 3			
Ī	シルト分10.00	05~0.0	75mm) %	F. 1	6.8			
	粘土分"(0.	0.05 mm	欄 %	5. 1	6.8			
Ī	最大粒径		mni	2	19			
度	均等係数	U_{\circ}		2. 21	6. 22			
	曲率係数	U" c		1. 21	0. 63			
Ī							 	
コン	液性限界	wı	%				 	
システ	塑性限界	$w_{\mathfrak{p}}$	%				 	
2	塑性指数	$I_{\mathfrak{p}}$					 	
コンシステンシー特性							 	
	地盤材料の			細粒分まじり砂	細粒分まじり			
455	分 類 名				礫質砂			
類	分類記号			(S-F)	(SG-F)		 	
-	試験方法							
ΞĪ	圧縮指数	C_{c}					 	
+	圧密降伏応力		kN/m²					
密							 ******	
ш							 	
_	一軸圧縮強さ	a,	kN/m²					
1	破壊ひずみ							
Œ			MN/m²				 	
縮			%				 	
	試験条件	8						
世		c	kN/m²	######################################			 	
	全応力	ф					 	
ん・		2	kN/m²			·	 	
新	有効応力 -	ф.	, ,				 	
ÿ1	*********	*				*********	 	
100								
透 -							 	
+								
+							 	

P2-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

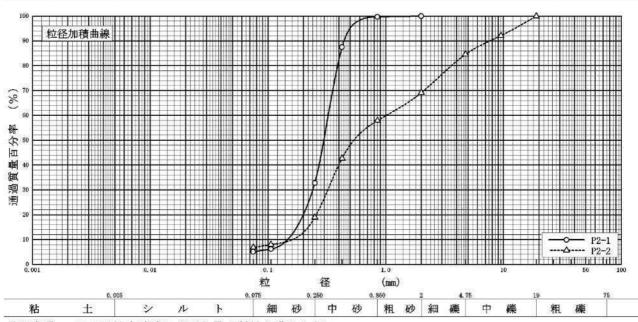
 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

武料番号 (深 さ)	P2-1 (6. 15~6.	45m)	P2-2 (12. 15~1	12.45m)		試 (沒	料	番	号 さ)		P2-1 (6. 15~6. 45m)	P2-2 (12. 15~12. 45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ŕ	分		%	122	=
	75		75		中	Ø	Ŕ	分	niin-580	%	=	15. 4
Š	53		53		細	E	Ħ.	分		%		15. 5
	37. 5		37. 5		粗	fi	þ	分		%	0. 3	11. 2
る	26. 5		26. 5		中	Ŧī,	þ	分		%	66. 9	39. 0
	19		19	100.0	細	Tq.	<u>پ</u>	分		%	27. 7	12, 1
41	9. 5		9. 5	92.1	シ	ル	1	分		%	5. 1	6.8
****	4. 75		4. 75	84. 6	粘		=	分		%	3, 1	0.0
分	2	100.0	2	69.1	2mm	ふるレ	通過	質量	百分	率 %	100.0	69. 1
71	0, 850	99, 7	0, 850	57. 9	425	μms	るい通	過質量	量百分	率 %	87. 5	42.7
are.	0. 425	87. 5	0. 425	42.7	75 μ	mふる	い通道	過質量	t百分 ³	率 %	5. 1	6.8
析	0. 250	32. 8	0. 250	18.9	最	大	粒	径		mm	2	19
	0. 106	6. 2	0. 106	8.0	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 3248	1. 0125
	0.075	5. 1	0.075	6.8	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 2980	0. 5356
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 2399	0. 3226
沈				*********	10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1469	0. 1629
u					均	等	係	数	U_{ϵ}		2. 21	6. 22
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1. 21	0. 63
					±. 2	粒子	の密	度	ρ_s	g/cm ³		2. 63
分					使用	した	分散剤	J			1000	355
析					溶液	凌濃度	溶液	添加	量			
NI.					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 1994	0. 2573



特記事項 P2-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日

平成 26年 9月 29日

試	料 番 号	P3-1	P3-2	P3-3			
	深さ)		100 march 100 ma	(16. 15~16. 45m)			
	湿潤密度ρ, g/cm³	ANTONOMO SOLVENO NO					
*	乾燥密度 ρι g/cm³						
Ī	土粒子の密度 ρ, g/cm³		2. 63				
	自然含水比 w。 %		12. 1				
设	間隙比。						
_	飽 和 度 Sr %						
7	石 分 (75mm以上) %						
	礫 分¹¹ (2~75mm) %	0. 0	33. 5	11. 3			
拉	砂 分1 (0.075~2mm) %	90. 5	59. 9	82. 1			
1	シルト分 ¹⁾ (0,005~0,075mm) %						
Ì	粘土分"(0.005mm欄)%	9. 5	6.6	6. 6			
1	最大粒径 皿	2	26. 5	4. 75			
度	均等係数U。	3.72	9. 20	2. 96			
支	曲率係数Uc	2, 04	0. 99	1, 31	*******		
1	in the state of th	2.01	0,00	1,01			
7	液性限界如 %						
シス	塑性限界心。%						
テンシ	塑性指数 /。		*******				
コンシステンシー特性	AE IL 26 30 1p						
A.C.	地盤材料の	細粒分まじり砂	御粋公主じり	御粋公職主じり			
分	分類 名	州地北川よしり19	機質砂	神紅が保ましり			
類	分類記号	(S-F)	(SG-F)	(S-FG)			
-	試験方法	(2-6)	(56-1)	(5-PG)			
£	压縮指数 C。						
-							
	圧密降伏応力 p 。 kN/m^2						
密							
	#LFF#### L		8				
-	一軸圧縮強さ q _v kN/m²						
軸	破壊ひずみ ε ε %						
縮	MN/m²					(
,,,,,,,,,	%						
世	試験条件						
*	全 応 力 - c kN/m²						
h	φ						
					20002000000		
断	有郊心刀						
_		c .					
透							
			55.55.55.55.55.55.5				
-							
水							
700							

特記事項

P3-2、P3-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

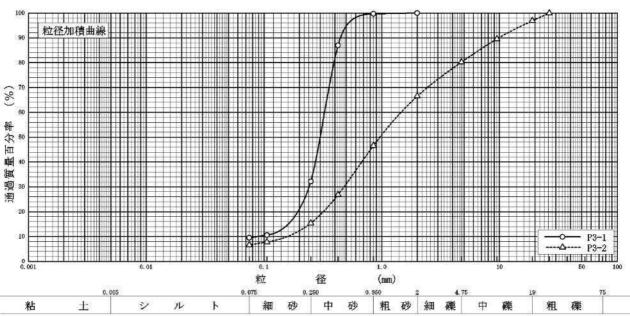
土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 李東下第5号 平成26年度

大石排水区大石2号貯留管他地質調查委託

試 験 者 斎藤 友香

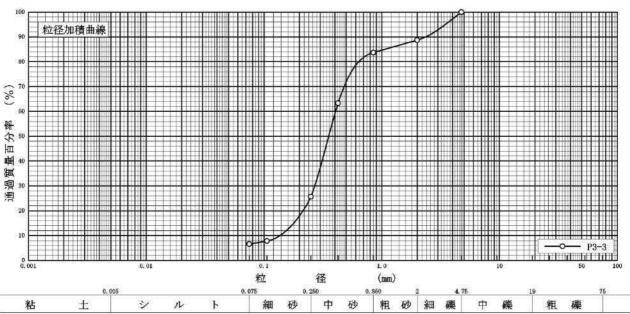
試料番号 (深 さ)	P3−1 (5. 15∼5.	45m)	P3-2 (12. 15~1	12.45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P3-1 (5. 15~5. 45m)	P3-2 (12. 15~12. 45m
	粒径mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ě	分		%	12	3. 1
	75		75		中	砂	ě	分		%	-	16. 7
ふ	53		53		細	码	Ħ	分		%	-	13. 7
	37. 5		37. 5		粗	R	þ	分		%	0. 3	19. 9
る	26. 5		26. 5	100.0	中	稅	þ	分		%	67. 5	31. 2
	19		19	96. 9	細	R	þ	分		%	22. 7	8.8
61	9. 5		9. 5	89.6	シ	ル	4	分		%	0.5	6. 6
NC 227	4. 75		4. 75	80. 2	粘	£	<u>.</u>	分		%	9. 5	0.0
分	2	100.0	2	66. 5	2mm	ふるレ	`通過	質量	百分率	K %	100. 0	66. 5
त्र	0, 850	99. 7	0, 850	46.6	425	μms	るい通	過質	量百分率	₹ %	87. 0	26.8
ae-	0. 425	87.0	0. 425	26.8	75 μ	mふる	い通i	過質量	▲ 百分署	≅ %	9. 5	6. 6
析	0. 250	32. 2	0. 250	15. 4	最	大	粒	径		min	2	26. 5
	0. 106	10.6	0. 106	7.8	60	%	粒	径	D 50	mm	0. 3268	1. 4579
	0.075	9.5	0.075	6.6	50	%	粒	径	D 60	mm	0.3000	0.9650
					30	%	粒	径	D 30	mm	0, 2417	0. 4786
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 0878	0. 1584
u					均	等	係	数	U_{ϵ}		3. 72	9. 20
降					ш	率	係	数	U'_{ϵ}		2. 04	0.99
					± 3	粒子	の笹	度	ρ_s	g/cm³		2. 63
分						した!			量		7 <u>C</u>	
析					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 1938	0.3194



土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

試 験 者 斎藤 友香

試料番号 (深 さ)	P3-3 (16. 15~1	6.45m)				試 (沒	料	番	号 さ)		P3-3 (16.15~16.45m)	
	粒径mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ħ	分		%	12	
	75		75		中	砂	ě	分	1000000000	%		
\$	53		53		細	æ	Ħ.	分		%	11. 3	
	37. 5		37. 5		粗	R	þ	分		%	5. 0	
る	26. 5		26. 5		中	稅	þ	分		%	58. 0	
	19		19		細	R	ļ)	分		%	19. 1	
k)	9. 5		9. 5		シ	ル	1	分		%	6. 6	
* 0.0	4. 75	100.0	4. 75		粘	£		分	40022	%	0, 0	
分	2	88. 7	2		2mm	ふるレ	通過	質量	百分平	≅ %	88. 7	
71	0.850	83. 7	0, 850		425	μmኤ	るい通	過質量	量百分率	率 %	63. 3	
1m	0. 425	63. 3	0. 425		75 μ	mふる	い通	過質量	t百分	率 %	6. 6	
析	0. 250	25. 7	0. 250		最	大	粒	径		mh	4. 75	
	0. 106	7.8	0.106		60	%	粒	径	D 60	mm	0. 4055	
	0.075	6. 6	0.075		50	%	粒	径	D 60	mm	0. 3544	
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 2698	
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1369	
w					均	等	係	数	U_{ϵ}		2. 96	
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1.31	
******					土 !	粒子	の密	度	ρ_s	g/cm³		
分					使用	したが	分散者	J			120	
析					溶液	凌濃度,	溶液	逐渐加	量			
8.0				****	20	%	粒	径	D_{-20}	mm	0. 2149	



特記事項 P3-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

整理年月日 平成 26年 9月 29日

試			<u> </u>		整理担当者	中野義仁
	100 Mei	P4-1	P4-2	P4-3	P4-4	
(深さ)	(4.15~4.45m)	$(9.15\sim 9.45 \text{m})$	(11.15~11.40m)	(15.15∼15.45m)	
	湿潤密度ρ, g/cm³					
-	乾燥密度 ρi g/cm³					
	土粒子の密度 $ ho$, g/cm^3			2. 64		
	自然含水比 w。 %			16. 5		
般	間隙比。					
	飽 和 度 Sr %					
	石 分 (75mm以上) %					
Ī	礫 分¹¹ (2~75mm) %	0. 0	0.0	2. 8	4. 2	
粒	砂 分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	95. 4	93. 7	89. 2	89. 8	
	シルト分¹¹(0,005~0,075mm)%				2.0	
	粘土分"(0.005mm欄)%	4. 6	6.3	8.0	6.0	
	最大粒径 🎹	2	2	9. 5	4. 75	
度	均等係数U。	2. 23	2. 42	5. 58	2. 65	
	曲率係数10°c	1. 14	1, 20	1. 73	1. 21	
עם	液性限界心 %					
コンシステンシー特性	塑性限界心。%					
22	塑性指数 I。					
幹性						
	地盤材料の	分級された砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	
	分 類 名	5.5.150.00				
類	分類記号	(SP)	(S-F)	(S-F)	(S-F)	
-					•	
	試験方法					
圧						
圧	圧縮指数 C。					
	圧縮指数 C。					
密	圧 縮 指 数 <i>C。</i> 圧密降伏応力 <i>p</i> 。 kN/m²			222472247524		
密	圧 縮 指 数 C。 圧密降伏応力 p。 kN/m² 一軸圧縮強さ qu kN/m²					
密一軸圧	 圧縮指数 C。 圧密降伏応力 p。kN/m² 一軸圧縮強さ qu kN/m² 破壊ひずみ εx % 					
密一軸圧	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 p。 kN/m² 一軸圧縮強さ g。 kN/m² 破壊ひずみ ε ε % MN/m²					
密一軸圧	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 p。 kN/m² 一軸圧縮強さ g。 kN/m² 破壊ひずみ εェ % MN/m² %					
密一軸圧縮	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ qu kN/m² 破壊ひずみ εr % MN/m² % 試験条件					
密ー軸圧縮せ	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 p。 kN/m² 一軸圧縮強さ g。 kN/m² 破壊ひずみ εェ % MN/m² %					
密ー軸圧縮せ	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ q』 kN/m² 破壊ひずみ εェ % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² φ。					
密一軸圧縮せん	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ Qu kN/m² 破壊ひずみ ε r % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² ф。					
密一軸圧縮せん	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ q』 kN/m² 破壊ひずみ εェ % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² φ。					
密ー軸圧縮せん断	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ Qu kN/m² 破壊ひずみ ε r % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² ф。					
密ー軸圧縮せん断	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ Qu kN/m² 破壊ひずみ ε r % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² ф。					
密一軸圧縮せん断	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ Qu kN/m² 破壊ひずみ ε r % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² ф。					
密	圧縮指数 C。 圧密降伏応力 P。 kN/m² 一軸圧縮強さ Qu kN/m² 破壊ひずみ ε r % MN/m² % 試験条件 全応力 C kN/m² ф。					

特記事項

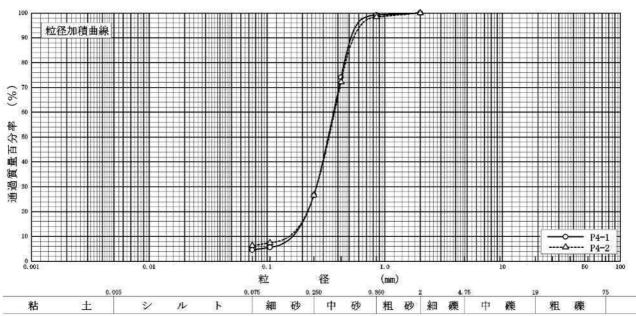
¹⁾ 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P4-1 (4. 15~4.	45m)	P4-2 (9. 15~9.	45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P4-1 (4.15~4.45m)	P4-2 (9.15~9.45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	Ø	ŧ	分		%	-	12
	75		75		中	Ø	Ķ	分		%	:=	-
ふ	53		53		細	e	美	分		%	_	
	37. 5		37. 5		粗	fi	b	分		%	0.8	1.6
る	26. 5		26. 5		中	16	þ	分		%	72. 6	71.8
	19		19		細	Tq.	b	分		%	22. 0	20. 3
L)	9. 5		9. 5		シ	ル	1	分		%	4. 6	6. 3
*0.00	4. 75		4. 75		粘	<u> </u>	=	分		%	4. 0	0.3
分	2	100. 0	2	100.0	2mm	ふるい	`通過	質量	百分率	%	100. 0	100.0
70	0, 850	99. 2	0.850	98. 4	425	μmふ	るい通	過質量	量百分率	š %	74. 1	72. 2
	0. 425	74. 1	0. 425	72. 2	75 μ	mふる	い通	過質量	t 百分率	%	4. 6	6. 3
析	0. 250	26. 6	0. 250	26. 6	最	大	粒	径		mm	2	2
	0. 106	5. 6	0.106	7. 4	60	%	粒	径	D 50	mm	0. 3677	0. 3741
	0. 075	4. 6	0.075	6.3	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 3317	0. 3362
				**********	30	%	粒	径	D 30	mm	0, 2625	0. 2632
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1648	0. 1544
1/L					坳	等	係	数	U_{ϵ}		2. 23	2. 42
降					曲	率	係	数	U'_{ϵ}		1.14	1.20
76810			555000000		± ;	粒子	の密	度	ρε	g/cm³	-	-
分				*		した。			量		<u> </u>	122
析				4	20	%	粒			mm	0. 2221	0. 2207

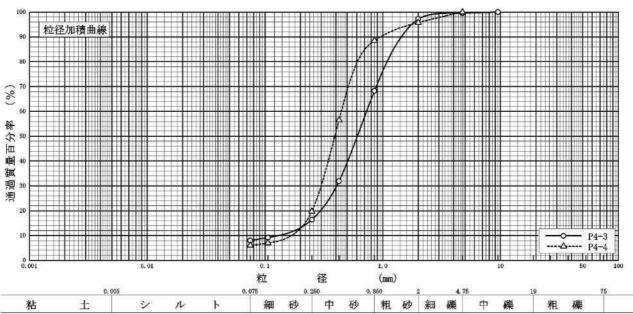


土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P4-3 (11. 15~1	1. 40m)	P4-4 (15, 15~)	15.45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P4-3 (11.15~11.40m)	P4-4 (15. 15~15. 45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ŕ	分		%	122	=
	75		75		中	Ø	Ŕ	分	T150745988	%	0.4	-
Š	53		53		細	E	Ħ.	分		%	2. 4	4. 2
	37. 5		37. 5		粗	fi	þ	分		%	28. 9	7.3
る	26. 5		26. 5		中	ti	þ	分		%	51. 9	68. 8
	19		19		細	Tq.	步	分		%	8. 4	13, 7
41	9.5	100.0	9. 5		シ	ル	1	分		%	8. 0	6. 0
****	4. 75	99. 6	4. 75	100.0	粘			分	60000	%	8.0	0.0
分	2	97.2	2	95. 8	2mm	ふるレ	通過	質量	百分平	8 %	97. 2	95. 8
71	0, 850	68. 3	0, 850	88. 5	425	μms	るい通	過質	量百分率	× %	31. 9	56. 5
ır-	0. 425	31. 9	0. 425	56. 5	75 µ	mふる	い通	過質量	t百分	图 %	8. 0	6.0
析	0. 250	16. 4	0. 250	19. 7	最	大	粒	径		tnta	9. 5	4. 75
	0. 106	9. 2	0. 106	7.0	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 7292	0. 4450
	0.075	8. 0	0.075	6.0	50	%	粒	径	D 60	mm	0.6089	0. 3916
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 4057	0. 2999
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1307	0. 1677
il.					均	等	係	数	U_{ϵ}		5, 58	2. 65
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1. 73	1. 21
					土:	粒子	の箸	度	ρ_s	g/cm ³	2. 64	-
分						した。			量		-	黨
析				+	20		粒		9000	mm	0. 2963	0. 2516



整理年月日

平成 26年 9月 29日

							整理担当者	中野	義仁
斌)	料深	番さ	号)	P5-1 (4.15~4.45m)	P5−2 (7.15∼7.45m)	P5-3 (11.15~11.45m)	P5−4 (15.15∼15.45m)		
	湿潤密	度 ρ,	g/cm³						
•	乾燥密	度 ρα	g/cm³						
	土粒子の智	密度 ρ,	g/cm ³			2. 68			
	自然含力	(比wn	%			15. 9			
役	間隙	比e							
	飽 和	度 Sr	%						
	石 分	(75mm	以上) %						
.]	礫 分1	(2~75	mm) %	0.0	0.0	1.8	0.0		
粒	砂分	(0.075~	2mm) %	95. 0	94. 3	90. 7	91.6		
	シルト分り 粘土分り			5. 0	5. 7	7. 5	8. 4		
İ	最大粒	径	mm	2	2	4. 75	2	200 - Save - Juditanie eks	
叟	均等係	数 U。		2. 30	2. 92	4. 64	3. 16		
	曲率係	数100		1. 12	1, 32	1, 81	1. 63		
コンシステンシー特性	液性限	界 wi	%						
ステ	塑性限	界 wo	%						
2	塑性指	数 I,							
华生									
7	地盤材料	りの		細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂		
est .	分 類	名							
复	分類記	号		(S-F)	(S-F)	(S-F)	(S-F)		
	試験方	法							
E	圧縮指	数 C。							
1	圧密降伏	古力 p 。	kN/m^2						
密									
°.	一軸圧縮引						,		
抽	破壊ひす	* # E F							
宿			MN/m²						
-	-1 m	64	%		0				
生	試験条								
4	全応力	7	kN/m²						
v		9	b °						
	有効応力) c'	kN/m²						:
折			þ′°						
Ę.									
k									
×	項						1) ₹		

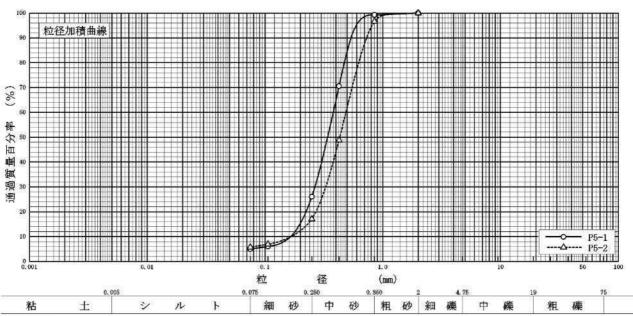
¹⁾ 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P5-1 (4. 15~4.	45m)	P5-2 (7.15~7.	45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P5-1 (4. 15~4. 45m)	P5-2 (7.15~7.45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ħ	分		%	22	-
	75		75		中	砂	ě	分		%		-
Š	53		53		細	Ø	į.	分		%		-
2	37. 5		37. 5		粗	R	þ	分		%	0.7	3. 4
る	26. 5		26. 5		中	稅	þ	分		%	73. 2	79. 5
•	19		19		細	R	b	分		%	21.1	11.4
61	9. 5		9. 5		シ	ル	1	分		%	. F.O.	F 7
****	4. 75		4. 75		粘	Ł	=	分		%	5. 0	5. 7
分	2	100.0	2	100.0	2mm	ふるレ	通過	質量	百分率	%	100. 0	100.0
H	0.850	99. 3	0, 850	96. 6	425	μms	るい通	過質量	量百分率	%	70. 6	48.8
.tre	0. 425	70. 6	0. 425	48.8	75 μ	mふる	い通i	過質量	t 百分率	8 %	5. 0	5. 7
析	0. 250	26, 1	0. 250	17. 1	最	大	粒	径		mh	2	2
	0. 106	6.0	0. 106	6.9	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 3796	0. 4868
	0.075	5. 0	0.075	5. 7	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 3402	0. 4314
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 2653	0. 3276
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1649	0. 1668
u					均	等	係	数	U_{ϵ}		2. 30	2. 92
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1.12	1. 32
					±.2	粒子	の密	度	ρ,	g/cm³		-
分						した。]量		=	
析		·		+	20		粒			mm	0. 2235	0. 2705

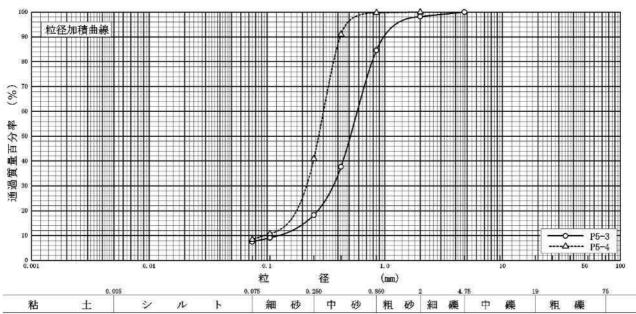


土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P5-3 (11.15~1	1.45m)	P5-4 (15, 15~)	15.45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P5-3 (11.15~11.45m)	P5-4 (15. 15~15. 45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø		分		%	12	=
	75		75		中	Ø	K	分	1000000	%	-	-
Š	53		53		細	E	裝	分		%	1. 8	-
	37. 5		37. 5		粗	fi	ቃ	分		%	13. 6	0.3
る	26. 5		26. 5		中	ti	ቃ	分		%	66. 3	58. 8
	19		19		細	Tq.	少	分		%	10.8	32, 5
61	9. 5		9. 5		シ	ル	1	分		%	7. 5	8. 4
****	4. 75	100.0	4. 75		粘		Ė	分	52552	%	1. 5	0.4
分	2	98. 2	2	100.0	2mm	ふるレ	`通過	質量	百分平	8 %	98. 2	100.0
),;	0, 850	84. 6	0, 850	99. 7	425	μmふ	るい通	過質量	量百分率	¥ %	37. 7	91.0
40	0. 425	37. 7	0. 425	91.0	75μ	mふる	い 通 i	過質量	百分學	客 %	7. 5	8. 4
析	0. 250	18. 3	0. 250	40. 9	最	大	粒	径		mta	4. 75	2
	0. 106	9. 1	0.106	10. 7	60	%	粒	径	D 50	mm	0. 5849	0. 3019
	0.075	7. 5	0.075	8.4	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 5110	0. 2747
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 3654	0. 2169
沈				*********	10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1261	0. 0955
11.					均	等	係	数	U_{ϵ}		4. 64	3. 16
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1.81	1. 63
Sec. 11					土: 2	粒子	の密	度	ρ_s	g/cm³	2. 68	-
分					使用	した	分散剤	I				325
析					溶液	濃度	溶液	添加	量			
200					20	%	粒	径	D_{-20}	mm	0. 2695	0. 1784



調査件名 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日

平成 26年 9月 29日

10,500,00	1964 2026 FEE	99 <u>00</u> 762 8501	11/250WED	整理担当者	1	1
試 (料番号 (スタイプ)	P6-1 (7.15∼7.45m)	P6-2 (12.15~12.41m)			
	湿潤密度ρι g/c	m ³	An or analysis and province province			
	乾燥密度 pa g/c	m ³				
	土粒子の密度 ρ, g/c	em ^a	2. 66			
	自然含水比 w。	%	12. 4			
ų į	間隙比。					
	飽 和 度 S,	%				
7	石 分 (75mm以上)					
-	礫 分 ¹⁾ (2~75mm)		27. 3			
ε	砂 分 ¹⁾ (0.075~2mm)		66. 4			
	シルト分"(0,005~0,075mm)	%				
-	粘土分10 (0.005 mm/編)	6.0	6.3		+	
- +	E (de) 57	2	19			
1	均等係数U。	3. 14	5. 63			
Ę	曲率係数1/6					
-	m 华 珠 级 // C	1. 60	1, 38			
	NA- LA PER SEI	0/				
		%				
		%				
	塑性指数 I,					
	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O		7			
}	地盤材料の	細粒分まじり砂	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF			
į į	分 類 名		礫質砂			
4	分類記号	(S-F)	(SG-F)			
	試験方法					
: [圧縮指数 C。					
	圧密降伏応力 p。kN/	m²				
3						
		4,-4				
	一軸圧縮強さ q, kN/	m²				
h		%		120223000000000000000000000000000000000		
:	MN/					
1		%				
	試験条件					
+	c kN/	/m ²				
	全成力					
.	有効応力 ()					
ŕ	φ					
į						
-						
Ç						

P6-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

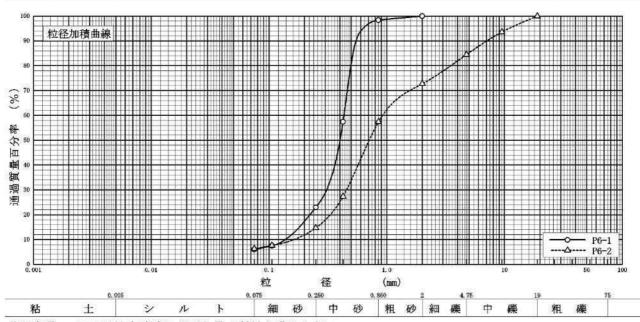
 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

武料番号 (深 さ)	P6−1 (7. 15∼7.	45m)	P6-2 (12. 15~)	12. 41m)		試(深	料	番	号 さ)		P6-1 (7.15~7.45m)	P6-2 (12. 15~12. 41m)
	粒径mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	碑	ŧ	分		%	22	=
	75		75		中	礴	į	分		%		15. 5
Š	53		53		細	碑	•	分		%		11.8
	37. 5		37. 5		粗	稅)	分		%	1.6	15. 3
る	26. 5		26. 5		中	砂	,	分		%	75. 4	42.7
	19		19	100.0	細	砂	,	分		%	17. 0	8, 4
61	9.5		9. 5	93, 6	シ	N	1	分		%	6. 0	6. 3
W/100	4. 75		4. 75	84. 5	粘	±		分		%	0, 0	0. 3
分	2	100.0	2	72. 7	2mm	ふるレ	通過	質量	百分率	%	100.0	72. 7
71	0, 850	98. 4	0, 850	57.4	425	μ m ৯ 🖟	が通	過質量	量百分率	%	57.4	27. 3
10-	0. 425	57.4	0. 425	27.3	75 µ	mふる	い通過	過質量	t百分率	%	6. 0	6. 3
析	0. 250	23. 0	0. 250	14. 7	最	大	粒	径		mm	2	19
	0. 106	7.5	0. 106	7.6	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 4328	0. 9201
	0. 075	6.0	0.075	6.3	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 4009	0. 7095
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 3088	0. 4557
沈				*********	10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1380	0. 1634
ii.					均	等	係	数	U_{ϵ}		3. 14	5. 63
降					曲	率	係	数	U_{\circ}'		1.60	1. 38
					±. ?	粒子	の密	度	ρ, g	cm ³		2. 66
分						したか 変濃度、			量		*	-
析					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 2229	0.3320



特記事項 P6-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 18日

					le:	整理担当者	中野	我—
試(号 さ)	P7-1 (5. 15~5. 45m)	P7−2 (11.15∼11.45m)	P7-3 (14.15~14.45m)	P7-4 (17. 15~17. 45m)		
Î	湿潤密度	o, g/cm ³	Determination of the second section of the		9400160566 9800000000000000000000000000000000000	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
38	乾燥密度	o ₄ g/cm ⁵						
Ì	土粒子の密度	o, g/cm		2, 69				
Ī	自然含水比1	v. %		19. 2				
ž.	間隙比	e						
	飽和度	S. %						
7	石 分 (75)	nm以上) %	ś					
Ī	礫 分1)(2~	75mm) %	0.0	0.0	28. 2	3. 0		
7.	砂 分10(0.0)			96. 2	64. 6	91. 7		
Ī	シルト分"(0.005	~0. 075mm) %	5					
1	粘土分10(0.0)	5 m m 未満) %	3. 3	3.8	7. 2	5.3		
1	最大粒径	 mn	+	2	19	4. 75		
£	均等係数	IJ.	2. 00	2. 87	7. 57	2. 56		
•	曲率係数		1. 11	1, 33	1, 25	1. 17		
Ì			.					
2	液性限界1	υı %	n -					
(塑性限界							
	塑性指数							
コンンステンンー寺生								
3	地盤材料の		分級された砂	分級された砂	細粒分まじり	細粒分まじり砂		
	分 類 名				礫質砂	100 C. 1850 S. 1840 S. 185		
質	分類記号		(SP)	(SP)	(SG-F)	(S-F)		
	試験方法							L.
E	圧縮指数	C.						
1	圧密降伏応力							
ř								
o .								
	一軸圧縮強さ	a. kN/m²						
90	破壊ひずみ		+					
+								
ih E		MN/m ²	8					
ih E		MN/m²						
轴 王		MN/m²						
油 正宿	試験条件	%						
油 正宿	試験条件	% kN/m						
由音音	試験条件全応力	% c kN/m² φ °						
曲日音	試験条件全応力	% c kN/m² φ ° c' kN/m²						
曲を留せい	試験条件全応力	% c kN/m² φ °						
帕E葿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	試験条件全応力	% c kN/m² φ ° c' kN/m²						
軸王縮せん断透	試験条件全応力	% c kN/m² φ ° c' kN/m²						
軸王宿せん断	試験条件全応力	% c kN/m² φ ° c' kN/m²						
軸王宿せん断	試験条件全応力	% c kN/m² φ ° c' kN/m²						

特記事項

P7-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

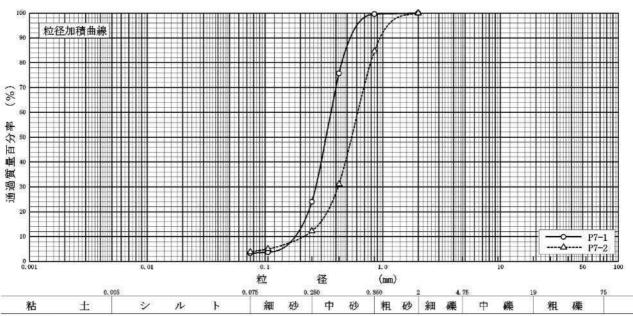
 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

武料番号 (深 さ)	P7-1 (5. 15~5.	45m)	P7-2 (11. 15~)	11.45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P7-1 (5. 15~5. 45m)	P7-2 (11. 15~11. 45m)
	粒径mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ħ	分		%	12	_
	75		75		中	Ø	į.	分		%	-	-
Š	53		53		細	æ	Ħ.	分		%		-
	37. 5		37. 5		粗	R	þ	分		%	0.4	15. 3
る	26. 5		26. 5		中	稅	þ	分		%	75. 6	72. 5
	19		19		細	R	b 	分		%	20. 7	8. 4
61	9. 5		9. 5		シ	ル	1	分		%	3. 3	3.8
••••	4. 75		4. 75		粘	Ł	_	分		%	3.3	0.0
分	2	100.0	2	100.0	2mm	ふるレ	`通過	質量	百分率	8 %	100.0	100.0
)3	0, 850	99. 6	0, 850	84. 7	425	μms	るい通	過質量	量百分率	8 %	75. 7	31. 1
析	0. 425	75. 7	0. 425	31.1	75 µ	mふる	い通i	過質量	t 百分率	8 %	3, 3	3.8
191	0. 250	24. 0	0. 250	12. 2	最	大	粒	径		mh	2	2
	0. 106	3. 7	0.106	5. 0	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 3624	0.6124
	0.075	3. 3	0. 075	3.8	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 3301	0. 5449
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 2701	0. 4173
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1810	0. 2137
VL.					均	等	係	数	U_{ϵ}		2.00	2. 87
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1.11	1. 33
7660					土:	粒 子	の密	度	ρ_s	g/cm³		2. 69
分	.55-0142002					した!			量		E	=
析					20	%	粒	径	D 20	mm.	0. 2339	0. 3393

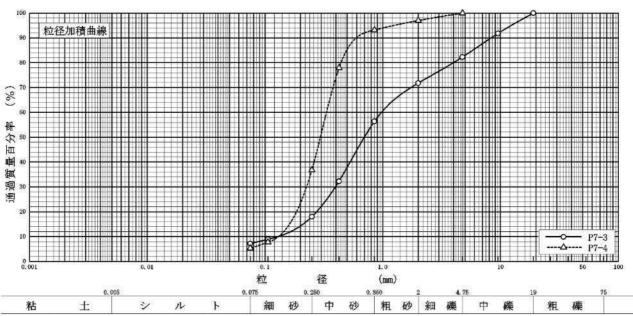


土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P7-3 (14. 15~1	4. 45m)	P7-4 (17. 15~)	17.45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P7-3 (14.15~14.45m)	P7-4 (17. 15~17. 45m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ħ	分		%	122	=
	75		75		中	Ø	ě	分		%	17.7	-
Š	53		53		細	Ø	Ħ.	分		%	10. 5	3. 0
	37. 5		37. 5		粗	Te	þ	分		%	15. 4	3.8
る	26. 5		26. 5		中	石	þ	分		%	38. 4	56. 4
	19	100.0	19		細	TQ.	b 	分		%	10.8	31.5
61	9. 5	91.8	9. 5		シ	ル	۴	分		%	7. 2	5.2
****	4. 75	82. 3	4. 75	100.0	粘	i de la companya de l		分		%	1.2	5. 3
分	2	71.8	2	97.0	2mm	ふるレ	通過	質量	百分率	%	71.8	97.0
71	0, 850	56. 4	0, 850	93. 2	425	μms	るい通	過質量	量百分率	%	32. 3	78.0
ır-	0. 425	32. 3	0. 425	78.0	75 μ	mふる	い通i	過質量	t百分率	%	7.2	5. 3
析	0. 250	18. 0	0. 250	36.8	最	大	粒	径		mm	19	4. 75
	0. 106	8. 9	0. 106	7. 7	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 9771	0. 3328
	0.075	7. 2	0.075	5. 3	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 6971	0. 2956
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 3964	0. 2255
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1291	0. 1301
u					均	等	係	数	U_{ϵ}		7. 57	2. 56
降					曲	率	係	数	U'_{ϵ}		1. 25	1. 17
					土;	粒 子	の密	度	ρ, ε	g/cm³		-
分						した。			量		=	=
析					20	%	粒	径	D 20	mm.	0. 2748	0. 1854



特記事項 P7-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

整理年月日

平成 26年 9月 29日

10/1000			171175					整理担当者	整理担当者中野
試		番	号	P8-1	P8-2	P8-3			
- 27	深	50(014))	$(3.15\sim3.45\text{m})$	$(7.15\sim7.45\text{m})$	(11.15~11.42m)			
F	湿潤密						Į.		
-	乾燥密								
	土粒子の智	密度 ρ,	g/cm ³		2, 73				
	自然含力	《比wn	%		20. 8				
般	間隙	比 e							
	飽 和	度 S,	%				Ī		
	石 分	(75mm	以上) %						
Ī	礫 分1	(2~75	mm) %	0. 0	0.0	29. 5	Ť		
粒	砂分	0.075~	2mm) %	95. 3	95. 5	63. 9	1-		
	シルト分1						-		
+	粘土分"			4. 7	4. 5	6.6	-	4,	
- 1	最大粒		mni	2	2	19	7	11	
t	均等係			2. 18	2. 22	6. 43	÷.		
12	曲率係	100810303					+		
F	四平水	数00		1. 13	1, 14	1. 25	÷		
-	Sales Lell Press	ted	0/				, i		
2/	液性限		%				-		
ステン	塑性限		%				ļ		
1	塑性指	数 I,	1000000				j.		
							L		
分	地盤材料	トの		分級された砂	分級された砂	細粒分まじり			
類	分 類	名				礫質砂			
與	分類記	号		(SP)	(SP)	(SG-F)			
-	試験方	法							
圧	圧縮指	数 C。							
Ī	圧密降伏	芯力 p。	kN/m²						
密						×			
344							5.5		
_	一軸圧縮引	強さ a	kN/m²						
1	破壊ひす						-		
圧		your M.I	MN/m²						
縮			%						
-	試験条	胜	70	-	<i>a</i>		_		
世	界 宋		1.N7 /- 2				-		
	全応力	J	kN/m²						
ん・			,						
1199	有効応力		kN/m²						
断			þ′°						
].					
透									
水									
存記事	CI百						_	18 7	1) 五分を除いた

特記事項

P8-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

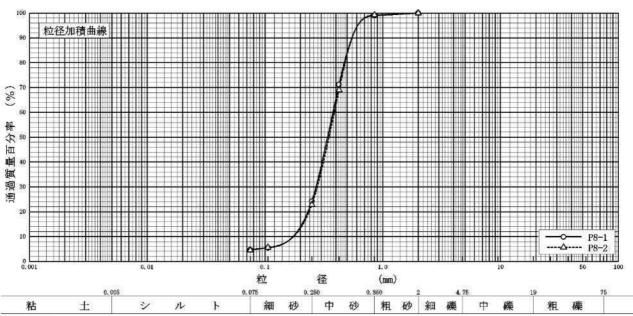
1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

 $[1kN/m^2 \Rightarrow 0.0102kgf/cm^2]$

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

試 験 者 斎藤 友香

式料番号 (深 さ)	P8-1 (3. 15~3.	45m)	P8-2 (7. 15~7.	45m)		試(深	料	番	号 さ)		P8-1 (3.15~3.45m)	P8-2 (7.15~7.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	74	分	22500	%	124	
	75		75		中		¥	分		%		-
Š	53		53		細	码	ŧ	分		%		
~	37. 5		37. 5		粗	稅	þ	分		%	1. 0	0.8
る	26. 5		26. 5		中	砭	þ	分		%	74. 8	76. 4
<i>a</i>	19		19		細	径	þ	分		%	19. 5	18. 3
L)	9. 5		9. 5		シ	ル	1	分		%		1402
Ves.	4. 75		4. 75		粘	£		分		%	4. 7	4. 5
分	2	100.0	2	100.0	2mm	ふるレ	通過	質量	百分率	%	100.0	100.0
H	0. 850	99. 0	0, 850	99. 2	425	μms	るい通	過質量	量百分率	%	71. 2	69. 0
Ir-	0. 425	71. 2	0. 425	69.0	75 μ	mふる	い通	過質量	t百分率	%	4. 7	4. 5
析	0. 250	24. 2	0. 250	22. 8	最	大	粒	径		mm	2	2
	0. 106	5, 5	0. 106	5. 6	60	%	粒	径	D 60	mm	0. 3772	0. 3877
	0.075	4. 7	0.075	4.5	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 3401	0. 3497
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 2714	0. 2780
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1734	0. 1749
1/4					均	等	係	数	U_{ϵ}		2. 18	2. 22
降					曲	率	係	数	U'_{ϵ}		1. 13	1. 14
Tage 17					±.2	粒子	の箸	度	ρ, ε	g/cm³	-	2. 73
分						したか 機度,			量		=	=
析					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 2321	0. 2372

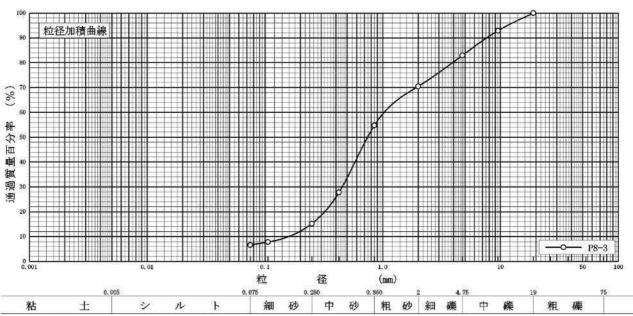


土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

試料番号 (深 さ)	P8-3 (11. 15~1	1.42m)				試 (沒	料	番	号 さ)		P8-3 (11.15~11.42m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	砂	Ě	分		%	1922	
	75		75		中	砂	ě	分	120 4546	%	17. 0	
Š	53		53		細	Ð	ŧ	分		%	12. 5	
	37. 5		37.5		粗	R	b	分		%	15. 7	
る	26. 5		26. 5		中	稏	þ	分		%	39. 6	
•	19	100.0	19		細	R	b	分		%	8. 6	
V)	9. 5	92. 9	9. 5		シ	ル	1	分		%	6. 6	
*****	4. 75	83. 0	4. 75		粘	Ł	-	分		%	6, 6	
分	2	70. 5	2		2mm	ふるレ	通過	質量	百分率	K %	70. 5	
N	0, 850	54. 8	0, 850		425	μmふ	るい通	過質量	量百分率	⊭ %	27. 8	
ir.	0. 425	27.8	0. 425		75 μ	mふる	い通	過質量	t百分 ³	B %	6. 6	
析	0. 250	15. 2	0. 250		最	大	粒	径		tnta	19	
	0. 106	7.8	0. 106		60	%	粒	径	D 60	mm	1. 0249	747 2 845 8 8 5 8 8 8 8 8 4 4 4
	0.075	6. 6	0.075		50	%	粒	径	D 60	mm	0. 7437	
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 4523	
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1593	
1/4					均	等	係	数	U_{ϵ}		6, 43	
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1. 25	
See C					±. 2	粒子	の箸	度	ρ,	g/cm³		
分						した!			量		=	
析					20	%			D 20	mm	0. 3216	



特記事項 P8-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

整理年月日

平成 26年 9月 29日

試	料	番	号	P9-1	P9-2	P9-3			
	深	71(2))	20239 540	1985009154	(13. 15~13. 45m)			
- 23	湿潤密	20,019	NO.	***************************************					
	乾燥密	度 ρι	g/cm ³						
Ī	土粒子の智	密度 ρ,	g/cm ³		2. 70				
Ī	自然含力	KH w.	%		20. 4				
設	間隙	比 e							
	飽 和	度 S,	%				100		
	石 分	(75mm	以上) %						
2000	礫 分1	(2~75	mm) %	0.0	0.0	49. 5			
粒	砂分	(0. 075~	2mm) %	96. 8	94.8	44.8			
Ī	シルト分り) (a. 005~0. i	075mm) %						
Ī	粘土分) (0. 0.05m	m未勤 %	3. 2	5. 2	5.7			
Ī	最大粒	径	mm	2	2	26. 5			
度	均等係	数 U.		2. 00	2. 50	20. 29			
	曲率係	数じc		1. 08	1, 11	0. 26			
Ī									
n >	液性限	界 wi	%						
コンシステンシー特性	塑性限	界 w。	%						
2	塑性指								
特性									
	地盤材料	りの		分級された砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり			
,,	分 類			2 T. W. T. T. T. S. S. S. S. S. S.		砂質礫			
※百 -	分類記			(SP)	(S-F)	(GS-F)			
-	試験方			N-17	N= -X		1		
	圧縮指								
+	圧密降伏		kN/m²						
密									
111									
_	一軸圧縮引	強さ a _n	kN/m²						
1	破壊ひす								
圧			MN/m²						
縮			%						
	試験条	件		1-					
世		C	kN/m²						
	全応力	J	5 °						
ん		· · ·	kN/m²						
断	有効応力		b' °						
1271									
553.5W									
透 -									
+							7.7775		
水									
· 記事	CT百							- 1	1) 五分を除いす

特記事項

P9-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料 に対する百分率で表す。

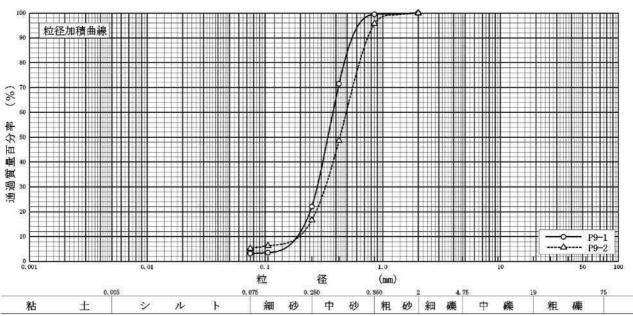
 $[1kN/m^2 = 0.0102kgf/cm^2]$

土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

試料番号 (深 さ)	P9-1 (4. 15~4.	45m)	P9−2 (8. 15∼8.	45m)		試(沒	料	番	号 さ)		P9-1 (4.15~4.45m)	P9-2 (8.15~8.45m)
	粒径mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗	Ð	Ħ	分		%	2	=
	75		75		中	Ø	į.	分		%	-	-
Š	53		53		細	Ð	Ħ.	分		%		-
	37. 5		37. 5		粗	70	b	分		%	0. 5	4.3
る	26. 5		26. 5		中	石	þ	分		%	77.4	79. 1
	19		19		細	Te.	b L	分		%	18. 9	11.4
61	9. 5		9. 5		シ	ル	۲	分		%	3. 2	5. 2
NA.	4. 75		4. 75		粘	i i		分		%	3. 2	3. 2
分	2	100.0	2	100.0	2mm	ふるレ	通過	質量	百分率	%	100.0	100.0
71	0, 850	99. 5	0, 850	95. 7	425	μms	るい通	過質量	量百分率	%	71.5	48. 6
ır-	0. 425	71.5	0. 425	48.6	75 μ	mふる	い通道	過質量	k百分率	8 %	3. 2	5. 2
析	0. 250	22. 1	0. 250	16.6	最	大	粒	径		mm	2	2
	0. 106	3, 5	0. 106	6. 3	60	%	粒	径	D 50	mm	0. 3775	0. 4900
	0.075	3. 2	0.075	5. 2	50	%	粒	径	D 60	mm	0. 3423	0. 4327
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 2775	0. 3262
沈					10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1884	0. 1957
11.					均	等	係	数	U_{ϵ}		2.00	2. 50
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		1.08	1.11
Sec. 11					土 2	粒 子	の密	度	ρ_s	g/cm³		2. 70
分	.50-0142002	************				で濃度			量		2	=
析					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 2413	0. 2710

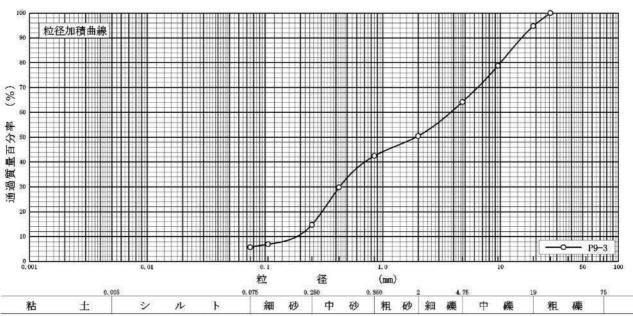


土 の 粒 度 試 験 (粒径加積曲線)

調査件名 委東下第5号 平成26年度 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試 験 者 斎藤 友香

試料番号 (深 さ)	P9−3 (13. 15∼1	3.45m)				試 (沒	料	番	号 さ)		P9-3 (13.15~13.45m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒径mm	通過質量百分率%	粗	Ø	Ŕ	分		%	5, 2	
	75		75		中	Ø	Ř	分	T-207-25/30	%	30. 6	
Š	53		53		細	B	Ħ	分		%	13. 7	
2	37. 5		37. 5		粗	Te	b	分		%	8. 0	
る	26. 5	100.0	26. 5		中	石	þ	分		%	27.8	
	19	94.8	19		細	TQ.	у	分		%	9. 0	
41	9. 5	78.8	9. 5		シ	ル	1	分		%	5. 7	
¥400	4. 75	64. 2	4. 75		粘	Ė.	=	分		%	5, 1	
分	2	50. 5	2		2mm	ふるレ	`通過	質量	百分	率 %	50. 5	
73	0, 850	42. 5	0, 850		425	μms	るい通	過質量	量百分	率 %	29.8	
The Control	0. 425	29.8	0. 425		75 μ	mふる	い通	過質量	t百分 ³	率 %	5. 7	
析	0. 250	14. 7	0. 250		最	大	粒	径		mm	26. 5	
	0. 106	6.9	0. 106		60	%	粒	径	D 60	mm	3. 7832	
	0. 075	5. 7	0.075		50	%	粒	径	D 60	mm	1. 9105	
					30	%	粒	径	D 30	mm	0. 4285	
沈				*********	10	%	粒	径	D 10	mm	0. 1865	
u					均	等	係	数	U_{ϵ}		20. 29	
降					曲	率	係	数	U_{ϵ}'		0. 26	
					±. 2	粒 子	の密	度	ρ_s	g/cm ³		
分					使用	した	分散斉	1			822	
析					溶液	濃度,	溶剂	添加	量			
, KI					20	%	粒	径	D 20	mm	0. 3057	



特記事項 P9-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

JGS 1314

単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名 委託

水位差s

(=ho-h)

m

0.720

0.670

0.635

0.605

0.580

0.520

0.465

0.430

0.400

0.375

0.355

0.335

0.320

0.310

0.300

0.260

0.230

0.210

0.195

0.180

0.170

0.160

0.150

0.580

試験年月日

平成26年7月25日

地点番号 (地盤高) No. 1

水位測定管内

水位 h

GL m

-1.150

-1.200

-1.235

-1.265

-1.290

-1.350

-1.405

-1.440

-1.470

-1.495

-1.515

-1.535

-1,550

-1.560

-1.570

-1.610

-1.640

-1.660

-1.675

-1.690

-1.700

-1.710

-1.720

試験者

高橋

ANNA	t /4	
試験多	宋14	

経過時間

t

S

0

15

30

45

60

90

120

180

240

300

360

420

480

540

600

900

1,200

1,500

1,800

2,100

2,400

2,700

3,000

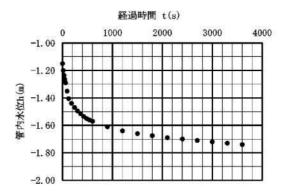
試	験 方 法	投入	天 候		晴れ
試験	区間の深さ GLm	-14.00 ~ -14.50	管口の高さ	GL m	+0.50
試験	区間の長さ Lm	0, 50	上部離隔長	L1' m	0.00
平衡	水 位 測 定	試験後	下部離隔長	L2' m	0.00
平	衡 水 位 hoGL m	-1.870	試験区間の孔径	D m	0.066
試験	開始水位差 sp m	0.720	測定パイプの内径	d m	0. 102
			等 価 内 径	de m	0. 102

記

録

h-	+	dia	紬
11	·	щ	APN.

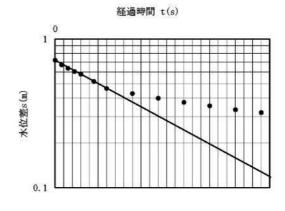
絬



Log s-t 曲線

試

直線勾配a 1/s



透水係数k m/s

3, 300	-1.730	0.140
3,600	-1.740	0.130
5, 400	-1. 785	0. 085
7, 200	-1.815	0.055
9,000	-1.825	0.045
10, 800	-1.830	0.040
直線上の点	逐標 t1 s	0
直線上の点		60
直線上の点	逐煙 slm	0.720

	log(s1 / s2)	_
<i>a</i> =	$\frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	

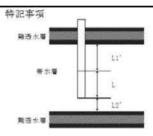
結

果

1.57E-03

_k _ (2.3de) ²	$\log^{(2L)}a$
λ	8L	D^{α}

2. 54E-05



直線上の点座標

JGS 1314

単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託

水位差s

(=ho-h)

m

0.550

0.440

0.390

0.340

0.320

0.310

0.300

0.295

0.290

0.280

0.275

0.270

0.265

0.260

0.255

0.230

0.210

0.190

0.170

0.155

0.140

0.125

0.115

0. 105 0. 100

0.075

0.055

0.050

試験年月日

平成26年7月25日

地点番号(地盤高) No.1

水位測定管内 水位 h

GL m

-2.420

-2.310

-2.260

-2. 210

-2.190

-2.180

-2.170

-2. 165

-2.160

-2.150

-2.145

-2.140

-2.135

-2.130

-2.125

-2.100

-2.080

-2.060

-2.040

-2.025

-2.010

-1.995

-1.985

-1.975

-1.970

-1.945

-1.925

-1.920

試験者

高橋

試験条	性
10人60人人人	-

経過時間

t

S

0

15

30

45

60

90

120

180

240

300

360

420

480

540

600

900

1,200

1,500

1,800

2,100

2,400

2,700

3, 000

3, 600 5, 400

7,200

9,000

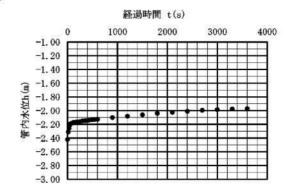
試	験 方法	汲上げ(回復)	天 候	晴れ	
試	験区間の深さ GL II	-14.00 ~ -14.50	管口の高さ	GL m +0.50	
活	験区間の長さ Lu		上部離隔長	L1' m 0.00	
平	衡 水 位 測 定	試験後	下 部 離 隔 長	L2' m 0.00	
平	衡 水 位 hoGL I	-1. 870	試験区間の孔径	D m 0.066	
試	験開始水位差 sp n	0.550	測定パイプの内径	d m 0.102	
			等 価 内 径	de m 0.102	

記

録

弒	

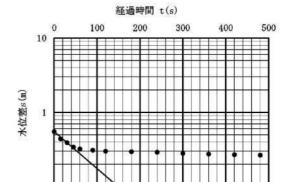
h-t曲線



Log s-t 曲線

試

直線勾配a 1/s



透水係数k m/s

直線上の点座標	tl s	0
直線上の点座標	t2 s	30
直線上の点座標	s1 m	0.550
直線上の点座標	s2 m	0.390

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

験

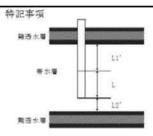
結

果

4.98E-03

k _ (2.3de) ²	\log^{2L}
λ	8L	D^{α}

8. 08E-05



JGS 1314

単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年8月22日

地点番号(地盤高) No.2

試 験 者

土田

試	鈴 条	件

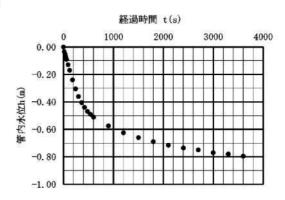
試	験 方	法	投入	天	候		晴れ
試験	区間の浴	栄さ GL m	-12.50 ~ -13.00	管口の	高さ	GL m	+0.50
試験	区間の長	₹さ Lm	0, 50	上部離	隔長	L1' m	0.00
平衡	· 水 位 測	」 定	試験後	下 部 離	隔長	L2' m	0.00
平	衡水	位 hoGL m	-2. 210	試験区間	の孔径	D m	0.066
試験	開始水位	立差 sp m	2. 450	測定パイプ	の内径	d m	0.102
				等 価	内 径	de m	0, 102

録

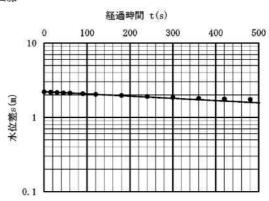
試	験	記
P		

経過時間 <i>t</i> s	水位測定管内 水位 h GL m	水位差s (=ho-h) m
0	0.000	2. 210
15	-0.035	2.175
30	-0.050	2. 160
45	-0.070	2.140
60	-0.090	2. 120
90	-0.130	2. 080
120	-0.170	2.040
180	-0.240	1.970
240	-0.305	1.905
300	-0.360	1.850
360	-0.405	1.805
420	-0.440	1.770
480	-0.470	1.740
540	-0.490	1.720
600	-0.510	1.700
900	-0. 575	1, 635
1, 200	-0. 625	1.585
1,500	-0.660	1,550
1,800	-0.690	1.520
2, 100	-0.715	1.495
2,400	-0.735	1.475
2,700	-0.750	1.460
3,000	-0.770	1.440
3, 300	-0.780	1.430
3,600	-0.795	1.415
5, 400	-0.840	1.370
7, 200	-0.870	1, 340
9,000	-0.880	1.330

h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	2. 210
直線上の点座標	s2 m	2. 12

	log(s1/s2)
<i>a</i> =	t2-t1

結

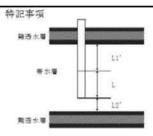
果

3.01E-04

試

直線勾配a 1/s

透水係数k m/s	4. 89E-06
$k = \frac{(2.3a)^{-3}}{3}$	$\frac{(e)^2}{\log(\frac{2L}{R})a}$



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名 委託

水位差s

(=ho-h)

m

1.610

1.580

1.560

1.543

1.528

1.487

1.453

1.385

1.318

1.260

1.200

1.145

1.095

1.045

1.000

0.800

0.640

0.515

0.415

0.335

0.265

0.220

0.180

0.145

0.115

0.030

0.005

0.000

試験年月日

平成26年8月22日

地点番号 (地盤高) No. 2

水位測定管内

水位 h

GL m

-3, 820

-3.790

-3.770

-3.753

-3.738

-3.697

-3.663

-3.595

-3.528

-3.470

-3.410

-3.355

-3, 305

-3. 255

-3.210

-3.010

-2.850

-2.725

-2.625

-2.545

-2.475

-2.430

-2.390

-2.355

-2.325

-2.240

-2. 215

-2. 210

試験者

土田

11	験	久	14
DE.	肥	3	14

経過時間

t

S

0

15

30

45

60

90

120

180

240

300

360

420

480

540

600

900

1,200

1,500

1,800

2,100

2,400

2,700

3,000 3, 300

3,600 5, 400

7,200

9,000

試験 方法 汲	上げ(回復) 天	候	晴れ
試験区間の深さ GLm -12.50	0 ~ -13.00 管 口 の	高さ GL m	+0.50
試験区間の長さ Lm	0.50 上部離	隔 長 L1' m	0.00
平衡水位測定	試験後 下部離	隔 長 L2' m	0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2.210 試験区間の	りれ径 Dm	0.066
試験開始水位差 sp m	1.610 測定パイプ	の内径 dm	0.102
	等 価 🗜	り 径 de m	0. 102

録

記

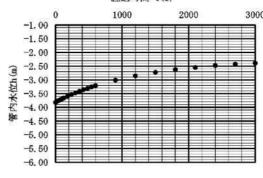
h-t	曲網	Į

試

験

経過時間 t(s) 1000 2000 3000 -1.00 -1.50-2.00-2.50管内水位h(m) -3.00-3.50 -4.00 -4.50

Log s-t 曲線



10	0	100	200	300	400	
10						Ħ
						H
1	••••	•	٠.	+	•	
					to the second	

透水係数k m/s

直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	1.610
直線上の点座標	s2 m	1.528

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

験

直線勾配a 1/s

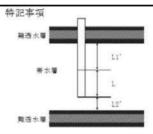
結

果

3.78E-04

k - (2.3de) ²	$\log^{(2L)}$
λ	8L	D

6. 15E-06



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年7月31日

地点番号(地盤高) No.3

試 験 者

清野

344€	421	4
可是	食条 (+

試 験 方 法	投入	天 候	晴れ
試験区間の深さ GLm	-11.50 ~ -12.00	管口の高さ	GL m +0.50
試験区間の長さ Lm	0. 50	上部離隔長	L1' m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-1.820	試験区間の孔径	D m 0.066
試験開始水位差 sp m	2.320	測定パイプの内径	d m 0.102
		等 価 内 径	de m 0.102
50 Sec. 10 Sec	試 験 記	録	

経過時間 t	水位測定管内 水位 h	水位差s (=ho-h)
S	GL m	m
0	0.500	2.320
15	0.473	2. 293
30	0.470	2. 290
45	0. 470	2. 290
60	0.468	2. 288
90	0.467	2. 287
120	0.467	2. 287
180	0. 465	2. 285
240	0. 463	2. 283
300	0.462	2. 282
360	0.460	2. 280
420	0. 458	2. 278
480	0. 457	2, 277
540	0. 455	2. 275
600	0. 454	2. 274
900	0. 451	2, 271
1.200	0.447	2. 267

0.440

0.438

0.435

0.430

0.426

0. 424

0.421

0.418

0.404

0.390

0.385

1,500

1,800

2,100

2,400

2,700

3,000

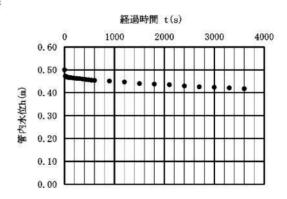
3, 300 3, 600

5, 400

7, 200

9,000

h-t曲線



Log s-t 曲線

2, 260

2.258

2.255

2. 250

2.246

2. 244

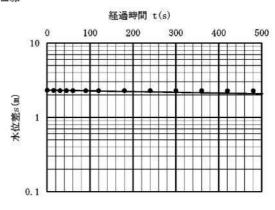
2.241

2.238

2, 224

2.210

2. 205



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	2. 320
直線上の点座標	s2 m	2. 288

	log(s1/s2)
<i>a</i> =	t2-t1

験

結

果

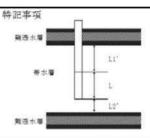
1.01E-04

試

直線勾配a 1/s

1	$(2.3de)^2$	$2L_{\text{lag}}$
λ –	8L	$\frac{\log(\overline{D})a}{D}$

1. 63E-06



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年7月31日

地点番号(地盤高) No.3

試験者

清野

仕

試	験 方	法	汲上げ(回復)	天	候		晴れ
試	験区間の深	さ GL m	-11.50 ~ -12.00	管口の	高さ	GL m	+0.50
試	験区間の長	さ Lm	0. 50	上部離	隔長	L1' m	0.00
平	衡水位測	定	試験後	下部離	隔長	L2' m	0.00
平	衡水	位 hoGL m	-1. 820	試験区間	の孔径	D m	0.066
試	験開始水位	差 sp m	0.810	測定パイフ	がの内径	d m	0.102
				等 価	内 径	de m	0, 102

録

記

験

経過時間 <i>t</i> s	水位測定管内 水位 h GL m	水位差s (=ho-h) m	
0	-2.630	0.810	1
15	-2.600	0.780	1
30	-2.580	0.760	7
45	-2. 560	0.740	7
60	-2, 540	0.720	ן ד

 15
 -2.600
 0.780

 30
 -2.580
 0.760

 45
 -2.560
 0.740

 60
 -2.540
 0.720

 90
 -2.510
 0.690

 120
 -2.480
 0.660

 180
 -2.422
 0.602

 240
 -2.373
 0.553

300 -2.3200.500 360 -2.2850.465 420 -2.2420.4220.390 -2. 210 480 -2.178 0.358 540 -2.150 0.330 600

0, 222 900 -2.0421,200 -1.9780.158 0.115 1,500 -1.935-1.908 0.088 1,800 -1.893 0.073 2,100 -1.880 2,400 0.060

-1.878

-1.872

-1.870

-1.868

-1.863

-1.857

-1.854

2,700

3,000

3,300

3,600

5,400

7,200

9,000

直線上の点座標

0.058

0.052

0.050

0.048

0.043

0.037

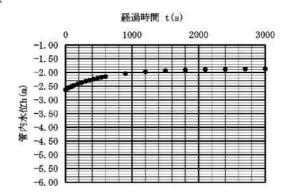
0.034

0.720

直線上の点座標 t1 s 0 直線上の点座標 t2 s 60 直線上の点座標 s1 m 0.810

s2 m

h-t曲線



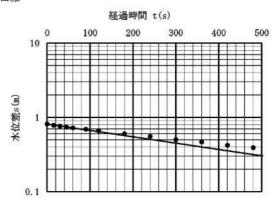
Log s-t 曲線

試

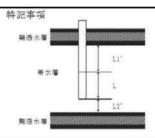
験

結

果



直線勾配a 1/s	8. 53E-04	透水係数k m/s	1. 38E-05
$a = \frac{\log(s)}{t^2}$	$\frac{(1/s2)}{-t1}$	$k = \frac{(2.3de)}{8L}$	$\frac{\left(\frac{2L}{D}\right)a}{\log(\frac{2L}{D})a}$



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年8月8日

地点番号(地盤高) No.4

試 験 者

清野

試験条	性
10人60人人人	-

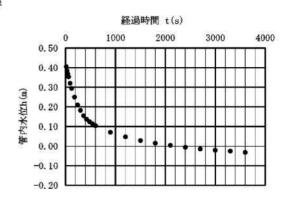
試験 方法	投入	天 候	雨
試験区間の深さ GLm	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ	GL m +0.50
試験区間の長さ Lm	0. 50	上部離隔長	L1' m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 320	試験区間の孔径	D m 0.066
試験開始水位差 sp m	2. 725	測定パイプの内径	d m 0.102
		等 価 内 径	de m 0.102
- 100 - 100	試 験 記	録	22

経過時間 t	水位測定管内 水位 h	水位差s (=ho-h)
S	GL m	m
0		
15	0.405	2.725
30	0. 384	2.704
45	0. 368	2.688
60	0.353	2.673
90	0, 320	2.640
120	0. 294	2.614
180	0. 250	2, 570
240	0. 210	2.530
300	0. 182	2.502
360	0. 155	2.475
420	0. 137	2.457
480	0.124	2, 444
540	0.113	2. 433
600	0.104	2.424
900	0.070	2, 390
1, 200	0.047	2.367
1,500	0.028	2, 348
1,800	0.015	2. 335
2, 100	0.004	2.324
2,400	-0,006	2. 314
2,700	-0.015	2. 305
3,000	-0.021	2. 299
3, 300	-0.026	2. 294
3,600	-0.032	2. 288
5, 400	-0.064	2, 256
7, 200	-0.093	2. 227

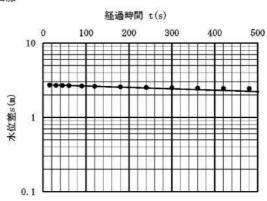
-0.112

2. 208

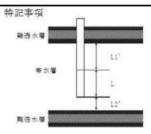
h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	15	直線勾配a 1/s	1.86E-04	透水係数k m/s	3. 02E-06
直線上の点座標	t2 s	60				
直線上の点座標	s1 m	2.725	log(s	(1/s2)	_{t-} (2.3de	$\frac{1}{2} \log \left(\frac{2L}{2} \right)$
直線上の点座標	s2 m	2.673	u	- t1	K - 8L	$-\log(\frac{-}{D})a$



9,000

単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託

水位差s (=ho-h) 試験年月日

平成26年8月8日

地点番号(地盤高) No.4

試験者

清野

試験	条件

経過時間

3, 300

3,600

5, 400

7,200

9,000

試	験 方	法	汲上げ(回復)	天	候		雨
斌	験区間の	深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口0	り高さ	GL m	+0.50
斌	験区間の	長さ Lm		上部	推隔 長	L1'm	0.00
平	衡水位》	則定	試験後	下部會	推 隔 長	L2' m	0.00
平	衡水	位 hoGL m	-2. 320	試験区間	引の孔径	D m	0.066
盆	験開始水	位差 sp m	1. 130	測定パイ	プの内径	d m	0. 102
				等 価	内 径	de m	0. 102

録

記

絬

S	GL m	m
0	-3. 450	1.130
15	-3. 437	1.117
30	-3. 432	1.112
45	-3. 428	1.108

水位測定管内

水位 h

60 -3.425 1.105 90 -3.415 1.095 120 -3.408 1.088 180 -3.390 1.070 240 -3.375 1.055 300 -3.358 1.038 1.022 360 -3.342

 240
 -3.375
 1.055

 300
 -3.358
 1.038

 360
 -3.342
 1.022

 420
 -3.328
 1.008

 480
 -3.312
 0.992

 540
 -3.298
 0.978

 600
 -3.282
 0.962

 900
 -3.215
 0.895

0.832 1,200 -3.152 -3.095 1,500 0.775 -3.042 1,800 0.722-2.992 0.672 2,100 -2.950 0.630 2,400 -2. 908 0.588 2,700 -2.865 0.545 3,000

-2.830

-2.795

-2.640

-2.532

-2.442

0.510

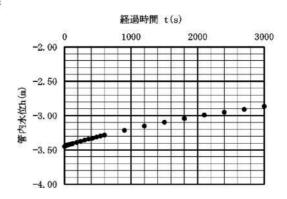
0.475

0.320

0.212

0.122

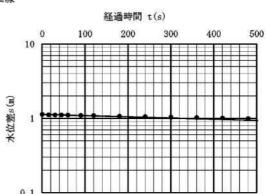
h-t曲線



Log s-t 曲線

試

直線勾配a 1/s



透水係数k m/s

直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	1.130
直線上の点座標	s2 m	1. 105

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

験

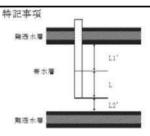
結

果

1.62E-04

k - (2.3de) ²	$\log^{(2L)}$
λ	8L	D

2. 63E-06



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名

試験年月日

平成26年8月8日

地点番号 (地盤高) No. 5 試験者

本間

試験条件	
B-ARX NCIL	

経過時間

弒	験	方	法	投入	天	候	曇り・雨
弒	験区	間の深	さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高	さ GL m	+0.10
弒	験 区	間の長	さ Lm	0, 50	上部離隔	長 L1'm	0.00
平	衡水	位測	定	試験後	下部離隔	長 L2' m	0.00
平	衡	水	位 hoGL m	-2. 420	試験区間の引	L径 Dm	0.086
試	験 開	始水位	差 sp m	2.520	測定パイプのロ	内径 d m	0.114
					等 価 内	径 de m	0. 114

録

記

過時間 <i>t</i> s	水位測定管内 水位 h GL m	水位差s (=ho-h) m	h-t	
0	0.100	2. 520		
(0.00)		Output in the		

0 15 0.090 2.510 30 0.090 2.510 45 0.080 2.500 60 0.080 2.500 90 0.070 2.490 120 0.070 2.490 180 0.060 2.480 240 0.060 2.480300 0.050 2.470

360 0.040 2.460 0.040 2.460 420 0.030 2, 450 480 0.030 2.450 540 0.020 2.440 600 2, 420 900 0.000

0.000 1,200 2.420 -0.010 1,500 2,410 2.400 1,800 -0.020 -0.030 2.390 2,100 2,400 -0.050 2.370 -0.070 2.350 2,700 -0.080 2.340 3,000

-0.100

-0.110

-0.180

-0.240

3,300 3,600

5,400

7,200

2.320

2.310

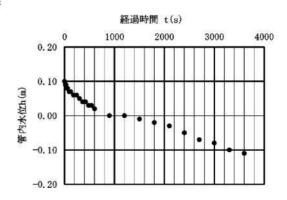
2, 240

2.180

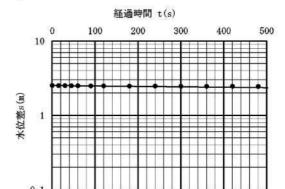
t曲線

絬

験



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	2.520
直線上の点座標	s2 m	2.500

	$\log(s1/s2)$
a =	t2-t1

験

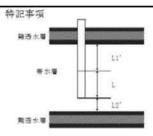
直線勾配a 1/s

結

果

5.77E-05

透水係数k m/s	1. 06E-06
$k = \frac{(2.3a)^{2}}{8}$	$\frac{de)^2}{dt}\log(\frac{2L}{D})a$



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託

水位差s

(=ho-h)

試験年月日

平成26年8月8日

地点番号(地盤高) No.5

試験者

本間

試験	条件

経過時間

t

3, 300

3,600

5, 400

7,200

9,000

10,800

弒	験	方	法	汲上げ(回復)	天	英	曇り・雨
弒	験区	間の深	දිර GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ	ĕ GL m	+0.10
弒	験 区	間の長	さ Lm	0, 50	上部離隔上	₹ L1'm	0.00
平	衡水	位測	定	試験後	下部離隔	長 L2' m	0.00
平	衡	水	位 hoGL m	-2. 420	試験区間の孔径	Ž D m	0.066
試	験 開	始水位	. 差 sp m	0.690	測定パイプの内容	Ž dm	0.102
					等 価 内 名	≚ de m	0. 102

記

録

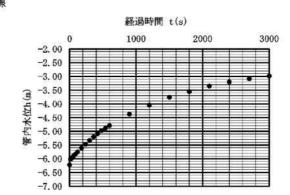
h-t	曲線

絬

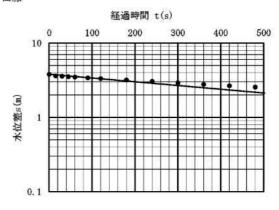
GL m S m 0 -6. 220 3.800 15 -6.020 3.600 30 -5.990 3,570 45 -5.940 3,520 60 -5.900 3.480 90 -5.820 3.400 120 -5.750 3.330 180 -5.610 3.190 240 -5.470 3.050 300 -5.330 2.910 2.780 360 -5.200 2.660 420 -5.080-4, 970 2,550 480 -4.880 2.460 540 -4.790 2.370 600 1.950 900 -4.370 1.620 1,200 -4.040-3.7601.340 1,500 1.130 -3.5501,800 -3.350 0.930 2,100 -3.200 0.780 2,400 -3.080 0.660 2,700 -2.980 0.560 3,000

水位測定管内

水位 h



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	30
直線上の点座標	s1 m	3.800
直線上の点座標	s2 m	3.670

-2.900

-2.820

-2.590

-2.540

-2.510

-2.500

0.480

0.400

0.170

0.120

0.090

0.080

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	108(31/32)
	12-11

験

結

果

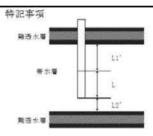
5.04E-04

試

直線勾配a 1/s

_k _ (2.3de) ²	$\frac{2L}{2}$
A	8L	$\frac{\log(D)a}{D}$

8. 18E-06



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年8月8日

地点番号(地盤高) No.5

試 験 者

本間

討論各	仕
D-VIEW NC	1.1

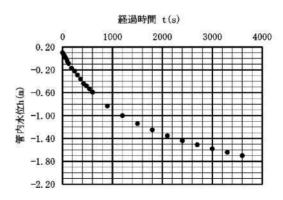
試	験 方	法	投入	天	候		曇り・雨
試験	区間の浴	ドさ GL m	-4.00 ~ -4.50	管口の	高さ	GL m	+0.10
試験	区間の長	ēさ Lm	0, 50	上部離	隔長	L1' m	0.00
平衡	所水 位 測	定	試験後	下部離	隔長	L2' m	0.00
平	衡水	位 hoGL m	-2. 520	試験区間の	り孔径	D m	0.086
試験	開始水位	Z 差 sp m	2.620	測定パイプ	の内径	d m	0.114
				等 価 🗜	9 径	de m	0. 114

録

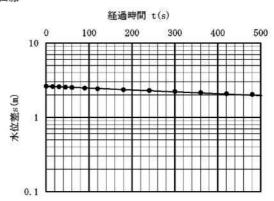
記

経過時間	水位測定管内	水位差s
t	水位 h	(=ho-h)
S	GL m	n
0	0.100	2. 620
15	0.080	2.600
30	0.060	2. 580
45	0.030	2.550
60	0.010	2, 530
90	-0.040	2. 480
120	-0.090	2.430
180	-0.170	2, 350
240	-0. 220	2.300
300	-0. 290	2. 230
360	-0.360	2. 160
420	-0.440	2.080
480	-0, 480	2,040
540	-0.530	1.990
600	-0.590	1.930
900	-0.830	1, 690
1, 200	-1.000	1.520
1,500	-1, 140	1, 380
1,800	-1. 250	1.270
2, 100	-1.350	1.170
2, 400	-1.440	1.080
2,700	-1.510	1.010
3,000	-1.580	0.940
3, 300	-1.640	0.880
3,600	-1.700	0.820
5, 400	-1.950	0.570
7, 200	-2. 120	0.400

h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	2.620
直線上の点座標	s2 m	2. 530

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

結

果

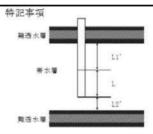
2.53E-04

試

直線勾配a 1/s

_k _ (2.3de) ²	$\frac{2L}{2}$
A	8L	$\frac{\log(D)a}{D}$

4. 63E-06



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名

試験年月日

平成26年8月8日

地点番号 (地盤高) No. 5 試 験 者

本間

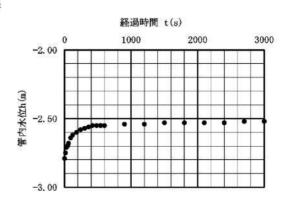
試験条件	

試験 方法	汲上げ(回復)	天候	曇り・雨
試験区間の深さ GLm	-4.00 ~ -4.50	管口の高さ GL	m +0.10
試験区間の長さ Lm	0, 50	上 部 離 隔 長 L1'	m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2'	m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 520	試験区間の孔径 D	m 0.086
試験開始水位差 sp m	0.270	測定パイプの内径 d	m 0.114
	VVIII DAVOID	等 価 内 径 de	m 0.114
	試 験 記	録	22

試	野東	哥ピ
		-

経過時間 <i>t</i>	水位測定管内 水位 h	水位差s (=ho-h)
0	GL m -2. 790	0, 270
15	-2. 750 -2. 750	0. 270
30	-2. 710	0. 230
45	-2. 710 -2. 700	0. 190
20,5/9/	(C00)01400000	JOHN ALV DESIGN
60	-2. 680	0.160
90	-2. 640	0, 120
120	-2, 620	0.100
180	-2. 600	0.080
240	-2. 580	0.060
300	-2.570	0.050
360	-2.560	0.040
420	-2.550	0.030
480	-2, 550	0.030
540	-2. 550	0.030
600	-2, 550	0.030
900	-2.540	0, 020
1,200	-2.540	0.020
1,500	-2, 530	0.010
1,800	-2.530	0.010
2, 100	-2.530	0.010
2,400	-2.530	0.010
2,700	-2. 520	0.000
3,000	-2. 520	0.000
3, 300	-2.520	0.000
3,600	-2.520	0.000
5, 400	-2, 520	0.000
7, 200	-2. 520	0.000
9,000	-2. 520	0.000
10,800	-2.520	0.000

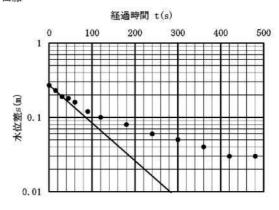
h-t曲線



Log s-t 曲線

試

直線勾配a 1/s



直線上の点座標	tl s	0
直線上の点座標	t2 s	30
直線上の点座標	s1 m	0.270
直線上の点座標	s2 m	0.190

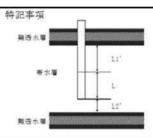
	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

結

果

5.09E-03

透水係数k m/s	9. 32E-05
$k = \frac{(2.3a)}{8b}$	$\frac{de)^2}{L}\log(\frac{2L}{D})a$



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名

試験年月日

平成26年9月1日

地点番号 (地盤高) No. 6 試 験 者

本間

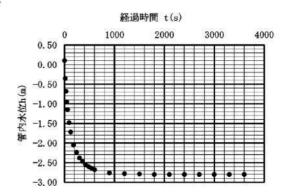
計	鯾	条(牛

試 験 方 法	投入	天 候	曇り
試験区間の深さ GLm	-12.00 ~ -12.50	管口の高さ	GL m +0.10
試験区間の長さ Lm	0, 50	上部離隔長	L1' m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 800	試験区間の孔径	D m 0.086
試験開始水位差 sp m	2.900	測定パイプの内径	d m 0.114
		等 価 内 径	de m 0.114
- 100 - 100	試 験 記	録	700

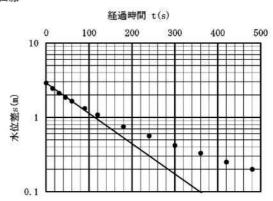
試	験	記

S	水位 h	(=ho-h)
	GL m	m
0	0.100	2.900
15	-0.350	2.450
30	-0.680	2. 120
45	-0.950	1.850
60	-1.150	1.650
90	-1.480	1.320
120	-1.720	1.080
180	-2.050	0.750
240	-2. 240	0.560
300	-2. 380	0.420
360	-2.470	0.330
420	-2.550	0.250
480	-2, 600	0, 200
540	-2. 640	0.160
600	-2.680	0.120
900	-2.760	0.040
1,200	-2.780	0.020
1,500	-2.790	0.010
1,800	-2.800	0.000
2, 100	-2.800	0.000
2, 400	-2.800	0.000
2,700	-2.800	0.000
3,000	-2.800	0.000
3, 300	-2.800	0.000
3,600	-2.800	0.000

h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	2.900
直線上の点座標	s2 m	1.650

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

結

果

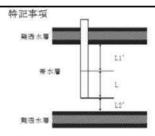
4.08E-03

試

直線勾配a 1/s

<i>l-</i> _	$(2.3de)^2$	log(2L)g
λ –	8L	$\frac{\log(\overline{D})a}{D}$

7. 48E-05



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託

水位差s

(=ho-h)

m

3.040

2.500

2.450

2.360

2.300

2.180

2.050

1.770

1.580

1.420

1.270

1.140

1.020

0.910

0.800

0.500

0.340

0.260

0.220

0.200

0.170

0.150

0.120

0.090

0.000

0.000

試験年月日

平成26年9月1日

地点番号(地盤高) No.6

水位測定管内

水位 h

GL m

-5.840

-5.300

-5.250

-5. 160

-5.100

-4.980

-4.850

-4.570

-4.380

-4. 220

-4.070

-3.940

-3,820

-3.710

-3.600

-3, 300

-3. 140 -3. 060

-3.020

-3.000

-2.970

-2.950

-2.920

-2.890

-2.870

-2.800

-2.800

試験者

本間

計斷久	14:
武 要 米	4

経過時間

t

S

0

15

30

45

60

90

120

180

240

300

360

420

480

540

600

900

1,200

1,500

2,100

2,400

2,700

3, 000

3,600

5, 400

7, 200

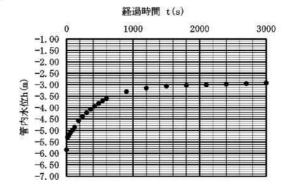
試	験 方	法	汲上げ(回復)	天	候		曇り
弒	験区間の浴	彩さ GL m	-12.00 ~ -12.50	管口の	高さ	GL m	+0.10
弒	験区間の長	ŧά Lm	0, 50	上部剛	1 隔 長	L1' m	0.00
平	衡水位測	定	試験後	下部離	1 隔 長	L2' m	0.00
平	衡水	位 hoGL m	-2. 800	試験区間	の孔径	D m	0.086
試	験開始水位	左差 spm	3.040	測定パイ	プの内径	d m	0. 114
				等 価	内 径	de m	0.114

録

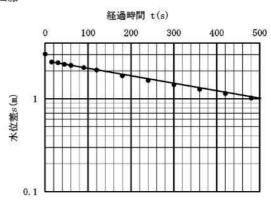
記

h	-ti	ш	線

絬



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	15
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	s1 m	2.500
直線上の点座標	s2 m	2.300

	158178
	$\log(s1/s2)$
a =	t2 - t1

験

結

果

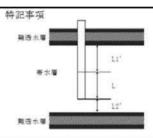
8.05E-04

試

直線勾配a 1/s

{l-} (2.3de) ²	$2L{\text{loc}}$
λ	8 <i>L</i>	$\frac{\log(\overline{D})a}{D}$

1.47E-05



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年8月25日

地点番号(地盤高) No.7

4.5	mis.	-14
ED.	明天	白

本間

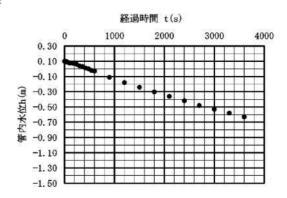
-4	MA	. 1	. /	4
P.	鵩	13	₹1	午

試験 方法	投入	天	候		晴れ
試験区間の深さ GLm	-11.00 ~ -11.50	管口(か 高 さ	GL m	+0. 10
試験区間の長さ Lm	0, 50	上部	雅 隔 長	L1' m	0.00
平衡水位測定	試験後	下部	惟隔長	L2' m	0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 900	試験区	間の孔径	D m	0.086
試験開始水位差 sp m	3.000	測定パイ	プの内径	d m	0.114
		等 価	内 径	de m	0.114

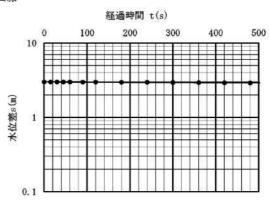
試	験	記	鉤

経過時間	水位測定管内 水位 h	水位差s (=ho-h)
t s	GL m	(-no-n)
0	0.100	3,000
15	0.100	3.000
30	0.100	3,000
45	0.090	2.990
60	0.090	2.990
90	0.080	2. 980
120	0.080	2.980
180	0.070	2.970
240	0.060	2.960
300	0.040	2.940
360	0.030	2.930
420	0.010	2.910
480	0.000	2, 900
540	-0.020	2.880
600	-0.030	2.870
900	-0.110	2, 790
1, 200	-0.180	2.720
1,500	-0, 240	2, 660
1,800	-0.300	2.600
2, 100	-0.360	2.540
2,400	-0.420	2.480
2,700	-0. 480	2.420
3,000	-0.530	2.370
3, 300	-0.580	2, 320
3,600	-0.630	2.270
5, 400	-0.860	2, 040
7, 200	-1. 100	1.800
9,000	-1. 280	1.620
10,800	-1.450	1.450

h-t曲線



Log s-t 曲線



透水係数k m/s

	100		
直線上の点座標	t1 s	0	Т
直線上の点座標	t2 s	60	┪
直線上の点座標	s1 m	3.000	╗
直線上の点座標	s2 m	2.990	╗

	$\log(s1/s2)$
<i>a</i> =	t2-t1

結

果

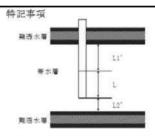
2.42E-05

試

直線勾配a 1/s

_k _ (2.3de) ²	$\log^{(2L)}$
λ	8L	$D^{\log(D)}$

4. 43E-07



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名 委託

試験年月日

平成26年8月25日

地点番号 (地盤高) No. 7 試験者

本間

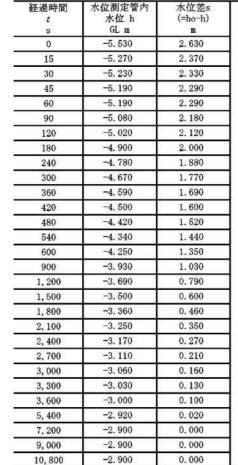
試験	2	14
的。	*	4

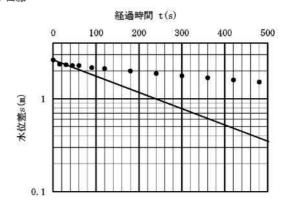
試験 方法	汲上げ(回復)	天 候	晴れ
試験区間の深さ GLm	$-11.00 \sim -11.50$	管口の高さ	GL m +0.10
試験区間の長さ Lm	0. 50	上部離隔長	L1' m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長 1	L2' m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 900	試験区間の孔径	D m 0.086
試験開始水位差 sp m	2.630	測定パイプの内径	d m 0.114
		等 価 内 径	de m 0.114
100 Section 200	試 験 記	録	

h	-t	ш	線

経過時間 t(s) 1000 2000 3000 -1.00 -1.50 -2.00-2. 50 -3. 00 管内木位h(m) -3. 50 -4. 00 -4. 50 -5.00 -5.50 -6.00 -6.50 -7.00

Log s-t 曲線





透水係数k m/s

直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	30
直線上の点座標	s1 m	2. 630
直線上の点座標	s2 m	2. 33

a =	$\log(s1/s2)$
<i>u</i> –	t2-t1

験

結

果

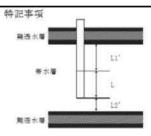
1.75E-03

試

直線勾配a 1/s

<i>l-</i> _	$(2.3de)^2$	$\frac{2L}{a}$
λ –	8L	$\frac{\log(\overline{D})a}{D}$

3. 21E-05



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 調查件名 委託

試験年月日

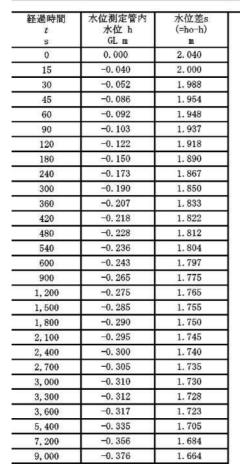
平成26年8月29日

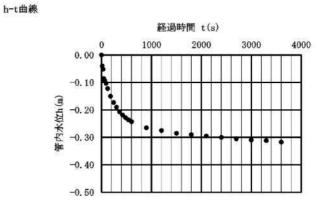
地点番号 (地盤高) No. 8 試験者

土田

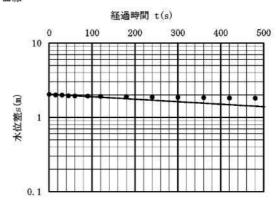
11	MA	N	14
DE	鐮	釆	:14

試験方法	投入	天 候		晴れ
試験区間の深さ GLm	-7.50 ∼ -8.00	管口の高さ	GL m	+0.50
試験区間の長さ Lm	0, 50	上部離隔長	L1' m	0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m	0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2.040	試験区間の孔径	D m	0.066
試験開始水位差 sp m	2. 120	測定パイプの内径	d m	0.102
		等 価 内 径	de m	0.102
2 23 20	試 験 記	録	222	





Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0
直線上の点座標	t2 s	60
直線上の点座標	sl m	2.040
直線上の点座標	s2 m	1. 94

	$\log(s1/s2)$
a =	t2-t1

験

結

果

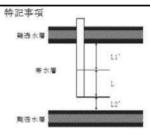
3.34E-04

試

直線勾配a 1/s

<i>l-</i> _	$(2.3de)^2$	log(2L)g
λ –	8L	$\frac{\log(\overline{D})a}{D}$

5. 43E-06



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年8月29日

地点番号(地盤高) No.8

試 験 者

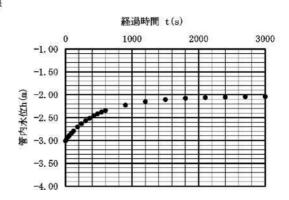
土田

-	HEA.	A	14
DE	淝	条	14

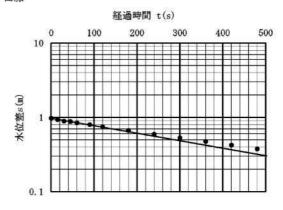
試 験 方 法	汲上げ(回復)	天 候	晴れ
試験区間の深さ GLm	-7.50 ~ −8.00	管口の高さ	GL m +0.50
試験区間の長さ Lm	0. 50	上部離隔長	L1' m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 040	試験区間の孔径	D m 0.066
試験開始水位差 sp m	0.890	測定パイプの内径	d m 0.102
	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF	等 価 内 径	de m 0.102
- 100 - 100	試 験 記	録	222

-3. 010 -2. 972 -2. 930 -2. 915 -2. 884 -2. 835 -2. 790 -2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416 -2. 377	0. 970 0. 932 0. 890 0. 875 0. 844 0. 795 0. 750 0. 666 0. 593 0. 530 0. 472 0. 423 0. 376
-2. 930 -2. 915 -2. 884 -2. 835 -2. 790 -2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0, 890 0, 875 0, 844 0, 795 0, 750 0, 666 0, 593 0, 530 0, 472 0, 423
-2. 915 -2. 884 -2. 835 -2. 790 -2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0. 875 0. 844 0. 795 0. 750 0. 666 0. 593 0. 530 0. 472 0. 423
-2. 884 -2. 835 -2. 790 -2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0. 844 0. 795 0. 750 0. 666 0. 593 0. 530 0. 472 0. 423
-2. 835 -2. 790 -2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0, 795 0, 750 0, 666 0, 593 0, 530 0, 472 0, 423
-2. 790 -2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0, 750 0, 666 0, 593 0, 530 0, 472 0, 423
-2. 706 -2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0, 666 0, 593 0, 530 0, 472 0, 423
-2. 633 -2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0. 593 0. 530 0. 472 0. 423
-2. 570 -2. 512 -2. 463 -2. 416	0, 530 0, 472 0, 423
-2. 512 -2. 463 -2. 416	0, 472 0, 423
-2. 463 -2. 416	0.423
-2. 416	USSEC CHARGE
SECOND PROPERTY.	0.376
-9 277	
2. 311	0.337
-2.342	0.302
-2. 225	0, 185
-2. 150	0.110
-2. 105	0.065
-2.075	0.035
-2.060	0.020
-2.050	0.010
-2.040	0.000
-2.040	0.000
-2.040	0.000
-2. 040	0.000
	-2. 060 -2. 050 -2. 040 -2. 040 -2. 040

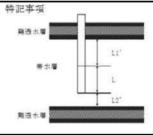
h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	0	直線勾配a 1/s	1.01E-03	透水係数k m/s	1.64E-05
直線上の点座標	t2 s	60				2
直線上の点座標	s1 m	0.970	log(s	(1/s2)	t_{-} (2.3de	$\frac{1}{2} \log \left(\frac{2L}{2} \right)$
直線上の点座標	s2 m	0.844	u	- t1	κ – <u>8L</u>	$-\log(\frac{-}{D})a$



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年7月28日

地点番号(地盤高) No.9

試 験 者

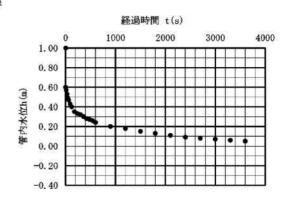
斉藤

試	験条	件

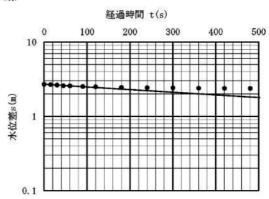
試 験 方 法	投入	天 候		晴れ
試験区間の深さ GLm	-8.00 ∼ -8.50	管口の高さ	GL m	+0.60
試験区間の長さ Lm	0, 50	上部離隔長	L1' m	0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m	0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2. 100	試験区間の孔径	D m	0. 086
試験開始水位差 sp m	2.700	測定パイプの内径	d m (). 100
		等 価 内 径	de m (). 100
100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	試 験 記	録	- 122	

醛過時間 <i>t</i> s	水位測定管内 水位 h GL m	水位差s (=ho-h) m
0	0.600	2.700
15	0.570	2.670
30	0. 530	2.630
45	0.490	2. 590
60	0.470	2.570
90	0. 430	2. 530
120	0.400	2.500
180	0.350	2.450
240	0. 330	2.430
300	0.320	2.420
360	0.300	2.400
420	0. 280	2.380
480	0. 270	2, 370
540	0. 260	2, 360
600	0, 240	2.340
900	0. 200	2, 300
1, 200	0.180	2. 280
1,500	0. 150	2, 250
1,800	0.130	2. 230
2, 100	0.110	2.210
2, 400	0.090	2. 190
2,700	0.080	2. 180
3,000	0.070	2. 170
3, 300	0.060	2. 160
3,600	0.050	2. 150
5, 400	0.010	2, 110
7, 200	-0.020	2.080

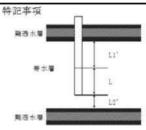
h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	tl s	0	直線勾配a 1/s	3.57E-04	透水係数k m/s	5. 03E-06
直線上の点座標	t2 s	60	$\log(s1/s2)$			
直線上の点座標	s1 m	2.700			$k = (2.3de)^2 \log(2L)$	
直線上の点座標	s2 m	2.570	4 -	- t1	κ =	$-\log(\frac{1}{D})a$



単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査

試験年月日

平成26年7月28日

地点番号(地盤高) No.9

試 験 者

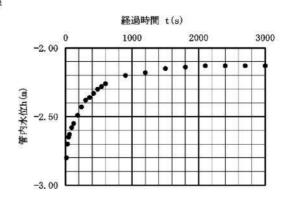
斉藤

試験条	性
10人60人人人	-

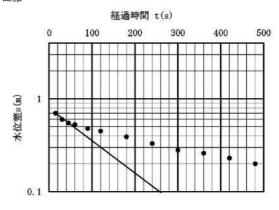
試験 方法	汲上げ(回復)	天 候	晴れ
試験区間の深さ GLm	$-8.00 \sim -8.50$	管口の高さ	GL m +0.60
試験区間の長さ Lm	0, 50	上部離隔長	L1' m 0.00
平衡水位測定	試験後	下部離隔長	L2' m 0.00
平 衡 水 位 hoGL m	-2.100	試験区間の孔径	D m 0.086
試験開始水位差 sp m	0.700	測定パイプの内径	d m 0.100
		等 価 内 径	de m 0.100
50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 5	試 験 記	録	22

経過時間	水位測定管内	水位差s
t	水位 h	(=ho-h)
S	GL m	m
0		0211722200
15	-2.800	0.700
30	-2.700	0,600
45	-2. 650	0. 550
60	-2. 630	0.530
90	-2.580	0.480
120	-2, 550	0.450
180	-2. 490	0.390
240	-2. 430	0.330
300	-2. 380	0.280
360	-2, 360	0.260
420	-2. 330	0. 230
480	-2, 300	0. 200
540	-2. 280	0.180
600	-2, 260	0.160
900	-2. 200	0, 100
1,200	-2. 180	0.080
1,500	-2, 150	0.050
1,800	-2. 140	0.040
2,100	-2. 130	0.030
2,400	-2, 130	0.030
2,700	-2. 130	0.030
3,000	-2. 130	0.030
3, 300	-2.130	0.030
3,600	-2. 130	0.030

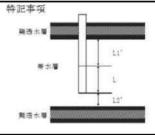
h-t曲線



Log s-t 曲線



直線上の点座標	t1 s	15	直線勾配a 1/s	3. 49E-03	透水係数k m/s	4. 92E-05
直線上の点座標	t2 s	45				2
直線上の点座標	s1 m	0.700	log(s	s1/s2)	$t_{r} = (2.3de)$	land la
直線上の点座標	s2 m	0.550	4 -	- t1	κ =	$-\log(\frac{-}{D})a$



1. スクリーン仕様書

本スクリーンは、雨水中の夾雑物を捕捉することを目的に設けるものである。

1.機器仕様

(1) スクリーン

• 仕様

①形式 ステンレス製バースクリーン

②形状 2.0m×2.0m

 ③取付角度
 90°

 ④有効目幅
 70mm

⑤数量 1 基

⑥材質 SUS304

• 付属品

①ゴミ搔き用熊手 アルミ製 1組

②ケミカルアンカー 1式

(1) 開閉式スクリーン

• 仕様

①形式 ステンレス製バースクリーン

②形状 1.0m×2.0m

③取付角度 90°

④有効目幅 70mm

⑤数量 2基

⑥材質 SUS304

• 付属品

①ケミカルアンカー 1式

• 特記事項

①維持管理の人通孔として使用するため、開閉構造を有すること。

■ 大石排水区貯留施設 シール材見積仕様書

表一 シール材見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド材	水膨張性	
4.貼り付け	全周貼付	
5.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
6.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
7.セグメント幅	0.277m、0.3m、0.476m、0.5m、0.578m、 0.6m、1.2 m	
8.セグメント分割数	6 分割	
9.提出資料の種類と部数	・検討書 2部・見積書 2部	
10.提出期限	別紙参照	

- シール材貼付費も計上のこと。
- 1m当りの見積を提出のこと。

■ 大石排水区貯留施設 コーキング材見積仕様書

表一 コーキング材見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名		
2.資料の宛先	新潟市役所	
3.コーキング材	エポキシ系	
4.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
5.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
6.セグメント幅	0.277 m, 0.3 m, 0.476 m, 0.5 m, 0.578 m, 0.6 m, 1.2 m	
7.セグメント分割数	6 分割	
8.提出資料の種類と部数	・検討書 2部・見積書 2部	
9.提出期限	平成 27 年 月 日()ごろ	

- コーキング材貼付費も計上のこと。
- 1m当りの見積を提出のこと。

■ 大石排水区貯留施設 ボルトボックス充填材見積仕様書

表一 ボルトボックス充填材見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
4.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
5.セグメント幅	0.3m, 0.5m, 0.6m, 1.2 m	
6.セグメント分割数	6 分割	
7.ボルトボックス	68,379 箇所(2436 リング)	
8.ボルトボックス充填量	85.719 m³	
9.提出資料の種類と部数	・検討書 2部・見積書 2部	
10.提出期限	別紙参照	

- モルタル材充填費も計上のこと。
- 1m³ 当りの見積を提出のこと。

■ 大石排水区貯留施設 裏込め材見積仕様書

表一 裏込め材見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド工法	泥土圧方式•防爆対応	
4.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
5.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
6.裏込め材(A 液)	 ・硬化剤(kg/m³) ・助剤(kg/m³) ・安定剤(kg/m³) ・水(L/m³) 	
7. 裏込め材 (B 液)	·可塑材(L/m³)	
8.提出資料の種類と部数	・見積書 2部・配合割合 2部	
9.提出期限	別紙参照	

■ 大石排水区貯留施設 ゴム製摩耗板見積仕様書

表一 ゴム製摩耗板見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.落差人孔	N=6 基	別紙参考図面参照
4.規格	形 式 : 多段式落差工 形 状 : 円形、矩形人孔 (別途図面参照) 材 質 : ゴム製 設置面積:A=71.60m ² 落下高(別途図面参照) 付属品 :一式(取付け金物等) ※見積りは設置費も計上する。	
5.提出資料の種類と部数	見積書 2部	
6.提出期限	別紙参照	

【特記事項】

設置面積合計

No. 1	落差人孔	(円形)	38.740 m2
No. 2	落差人孔	(円形)	16.560 m2
No. 3	分水人孔	(矩形)	8. 528 m2
No. 7	分水人孔	(矩形)	7.776 m2

※ 別途図面については、『6-東下第50号設計書・図面』の 図面No.26~31, 33, 35, 36と同様の図面です。 新潟市建設工事参加業者 各位

東部地域下水道事務所建設課 財 務 部 契 約 課

東下第50号 大石排水区大石2号貯留管下水道工事 の積算内容について(お知らせ)

東下第50号 大石排水区大石2号貯留管下水道工事の積算書について、下記の通り積算しております。

積算にあたってはご注意くださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

- ・『積算書 本工事費内訳表 管路 マンホール工 No.1 落差人孔築造 付属施設設置工 開閉式バースクリーン』の数量 (1 基) について、積算書の数量 (1 基) と設計図面に表示されている開閉式バースクリーンの数 (2 基) に差異がありますが、積算書の数量 (1 基) の通り 積算してください。上記内容については契約後、設計変更の対象としますので、積算書の通り積算してください。
- ・『積算書 本工事費内訳表 管路 管きょ工(シールド) 一次覆工 セグメント コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径 3650 内径 3250 幅 1200 厚 200 柱部甲 2 及びセグメント外径 3650 内径 3250 幅 1200 厚 200 柱部乙 2』の表記について、下記の通り誤りがありました。参考図 8 及び参考図 9 の開口部コンクリート中詰め鋼製セグメント構造図を参考に積算してください。

正:『<u>開口部</u>』 誤:『柱部』

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数量	単 位	単 価	金額	備
開口部 特別単価調査 0 省略	1	リング			572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグ・メント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 柱部甲1					WCS01
特別単価調査 0 省略	1	リング	Dem DATE From SECUTION MALE LOS ON TATE FOR THE EXPLOSURE TO A SECUTION OF THE EXPLOSION OF	\$10,500 00,000,000 00 15,000 00 15,000 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	572
コンクリート中詰め鋼製セク・メント セグ・メント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 柱部乙1					WCS01
禁別単価調本 ○ 省略	1	リング			572
コンクリート中詰め鋼製セク・メント セグ・メント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 開口部 軽部 甲2					WCS01
★別単価調査 0 省略		リング			572
コンクリート中詰め鋼製セク・メント セグ・メント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 開口部 柱部 乙2					WCS01
特別単価調査 0 省略	1	リング			572
コンクリート中語の鋼製でクラント セグ・メント外径3650 内径3250 幅600 厚200 急曲線R80部用					WCS01
特別単価調査 0 省略	63	リング			572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅500 厚200 急曲線R50、60部用					WCS01
特別単価調査 0 省略	95	リング			572
コンクリート中詰め鋼製セク・メント セク・メント外径3650 内径3250 幅300 厚200 急曲線R30部用					WCS01
特別単価調査 0 省略	890	リング			572 WKS01
セク・メント外径3650 内径3250 幅500					WV201
特別単価調査 0 省略	2	リング			572
ボルトボックス充填 材工 材料¤ス1.1を含む					WBJ01
特別単価調査 0 省略	85. 7	m3			572
シール材 全周張り シール溝25×20×2.3h 水膨張性 材工					WSS01
特別単価調査 0 省略 シール材 全周張り	51, 470	m			WSS01 572
シール溝24×20×2h 水膨張性 材工					
特別単価調査 0 省略 セグ・メント目 地コーキング・充填	27, 828	m			WSK01 572
での メント日 地ゴーマング 元頃 エボ・ギシ系 RCセケ・メント幅12mm、深さ15mm 材工 (材料ロス1.1を含む)					WORO I

6. 水中底盤コンクリート厚の計算

6. 1 検討条件 ケーソン内径

 $\phi i = 5,500 \text{ m}$ G L - 0.000 m t = 1.500 m 設計水位 水中コンクリート厚

対象深さ L = 13.200 m (設計水位よりケーソン下端までの深さ)

6.2 荷重ロット駆体重量 W_c= 3591.22 kN (浮き上がり照査より) $W_{c2} = 976.00 \text{ kN}$ (" $U_u = 4794.00 \text{ kN}$ (" 水中コンクリート重量 浮力

> $\Sigma W = Wc + Wc2 - Uu$ = 3591.22 + 976.00 - 4794.00 = -226.78 kN

 $A = \pi/4 \times \phi i \hat{2}$ $= \pi/4 \times 5.50^{-2}$ = 23.76 m2

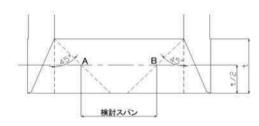
水中コンクリート自重 $W_{wc}=-1.500~m \times 23.0~k \ N/m^3=~-34.50~k \ N/m^2$ 静水圧 $Pw=13.200~m \times 10.0~k \ N/m^3=~132.00~k \ N/m^2$ 地盤反力 $q=(\Sigma W-Uu)/A=~-226.78~/~23.76=~-9.54~k \ N/m^2$

 $W = W_{\psi_0} + P_{\psi} + q =$

 $= -34.50 + 132.00 + -9.54 = 87.96 \text{ kN/m}^2$

6.3 断面力の計算

検討スパン 1 = 4.00 m半径 r = 2.00 m 周辺単純支持の円版として検討する。



曲げモーメント $M = (3+v) \times W \times r^2/16 = (3+1/6) \times 87.96 \times 2.000^2/16 = 69.6 kN \cdot m$

せん断力 $S = W \times r/2 = 87.96 \times 2 /2 = 88.0 \text{ kN}$

6.4 応力度の照査 コンクリートの断面係数 $Z_c=1/6 \times b \times h^2=1/6 \times 1000 \times 1500^2=375 \times 10^6 \ \mathrm{mm}^3$

 $\sigma t = M/Zc = 69.6 \times 10^6 / 375 \times 10^6$ 曲げ引張り応力度

> $= 0.19 \quad N/m \, m^2 \quad < \quad \sigma \, a = \quad 0.30 \quad \times \quad 1.50 \quad = \quad 0.45 \quad N/m \, m^2$ OK

曲げ引張り応力度「道路土工 擁壁工指針 平成24年版 日本道路協会 P-81」

 $\tau = S/(b \times h) = 88.0 \times 10^3 / (1000 \times 1500)$ せん断応力度

> $=~0.06~N/m\,m^2~<~\tau\,a=~~0.23~\times~1.50~=~0.35~N/m\,m^2$ OK

曲げ引張り応力度「道路土工 擁壁工指針 平成24年版 日本道路協会 P-81」

■ 大石排水区貯留施設 コンクリートセグメント見積仕様書

表一 コンクリートセグメント見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド工法	泥土圧方式·防爆対応	
4.シールド機外径	φ 3,780 mm	
5.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
6.仕上がり内径	φ 3,250 mm	内水圧対応型
7.セグメント幅	1.2 m	直線部のみ
8.キーセグメント挿入方法	軸挿入	
9.曲率半径	30R(7 箇所)、50R、60R、80R、150R、 200R(3 箇所)	
10.施工延長	2,011.51m(路線延長)	別紙 延長説明図、平面縦断図参照
11.土質条件	別紙柱状図、室内試験結果参照	
12.内水圧	地表面を内水位考慮時の水位とする	
13.土被り	7.93 m∼11.28 m	別紙平面縦断図参照
14.提出資料の種類と部数	・見積書 2部	
15.提出期限	別紙参照	

- ・常時、耐震レベル1、レベル2地震動、内水圧に適用可能であること。
- ※ 別紙延長説明図及び平面縦断図については、『6-東下第50号設計書・図面』の 『参考図-1』及び『図面No.3~12』と同様の図面です。
- ※ 別紙柱状図及び室内試験結果については、『質疑回答000002-別紙資料』及び 『質疑回答000013-別紙資料』を参照してください。

■ 大石排水区貯留施設 コンクリート中詰め鋼製セグメント見積仕様書

表ー コンクリート中詰め鋼製セグメント見積条件

項目	条件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド工法	泥土圧方式·防爆対応	
4.シールド機外径	φ 3,780 mm	
5.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
6.仕上がり内径	φ 3,250 mm	内水圧対応型
7.セグメント幅	30R : 0.3 m 50R·60R : 0.5 m 80R : 0.6 m 開口部:削孔径 φ 480mm 開口部:削孔径 φ 946mm	
8.キーセグメント挿入方法	軸挿入	
9.曲率半径	30R (7 箇所)、50R、60R、80R、150R、 200R (3 箇所)	
10.施工延長	2,011.51m(路線延長)	別紙 延長説明図、平 面縦断図参照
11.土質条件	別紙柱状図、室内試験結果参照	
12.内水圧	地表面を内水位考慮時の水位とする	
13.土被り	7.93 m~11.28 m	別紙平面縦断図参照
14.提出資料の種類と部数	・見積書 2部	
15.提出期限	別紙参照	

- ・常時、耐震レベル1、レベル2地震動、内水圧に適用可能であること。
- ※ 別紙延長説明図及び平面縦断図については、『6-東下第50号設計書・図面』の 『参考図-1』及び『図面No.3~12』と同様の図面です。
- ※ 別紙柱状図及び室内試験結果については、『質疑回答000002-別紙資料』及び 『質疑回答000013-別紙資料』を参照してください。